

種目〔国語〕

	発行者名	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○見通しを持って学習に取り組めるよう、「てびき」で学びの重点を問いの形で示している。 ○3年間の学びを見通した目標を持てるよう、裏表紙に「言葉の力」を一覧にして示している。	○主体的に学習に取り組めるよう、各教材末に「学びの道しるべ」を置き、学習過程を細かく紹介している。 ○学びの重点を的確に捉えられるよう、各教材の冒頭で指導事項の文言に合わせた「目標」を示している。	○学びのつながりを意識できるよう、各学年とも巻頭に「言葉の地図」を置き、重点を端的に示している。 ○学びを自覚できるよう、教材の冒頭で目標を、教材の後ろに具体的な振り返りの観点を示している。	○学びの重点や、前後のつながりを認識できるよう、各教材末及び巻末に「学びのカギ」を示している。 ○学びを言語化できるよう、「学びへの扉」で、目標や3観点の評価に沿った振り返りを示している。
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○自分や社会の課題と向き合えるよう、全体を通して9つのテーマに基づいた教材を配置している。 ○1年間の総まとめができるよう、各学年末の「未来への扉」で現代的諸課題について考えさせている。	○読解力を高められるよう、裏表紙に「読み方を学ぼう」を置き、3年間で22の方略を示している。 ○学びを活用し深められるよう、各教材末に「学びを広げる」を置き、発展的な課題に取り組みさせている。	○学習の確認ができるよう、各学年とも「学びのチャレンジ」を置き、思考を促している。 ○1年間で何を学んだかを振り返ることができるよう、巻末に「学びナビ」を一覧にして示している。	○教科の学び方を皆で共有できるよう、1学年巻頭で音読や発表の仕方など授業への臨み方を示している。 ○身に付けた力を活用できるよう、各学年末に「国語の力試し」が簡潔に設定されている。
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○個々の語彙力を高められるよう、「言葉を広げよう」のデジタル版で1870語の語彙が示されている。 ○親しみを持って古典学習に取り組めるよう、1年入門期において「浦島太郎」が採用されている。	○個の学びを深められるよう、各学年とも「二次元コード参照先コンテンツ一覧」が示されている。 ○教材への関心が高まるよう、キャラクターや漫画を用いた教材を掲載しながら、思考を促している。	○個の学びに活用できよう、他教科分も併せて「まなびリンク」をデジタル版の資料集として用意している。 ○言葉への関心が高められるよう、2学年で本県出身の作家・戸謙三の方言詩を採用している。	○学習成果を高められるよう、各学年とも裏表紙に「ICT活用のヒント」が一覧で示されている。 ○郷土への関心が高められるよう、2学年で本県出身の作家・三浦哲郎の作品を採用している。
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○学習のスムーズな移行を実現できるよう、前学年の復習と次学年の予習にあたる教材を掲載している。 ○表現力を高められるよう、詩歌の鑑賞の直後に創作させるなど、既習を生かす単元配列としている。	○学びを確実に積み重ねられるよう、全学年共通の「学習用語辞典」を採用している。 ○身に付けた力を発揮できるよう、「社会生活に生かす」でメールの書き方や話し合い方など示している。	○身に付けた力を発揮できるよう、各学年とも「総合」教材を置き、問題解決型学習に取り組ませている。 ○他教科や社会生活などにつながられるよう、話す、聞く教材の末尾に「学びを生かす」が示されている。	○主体的に学習を進められるよう、「思考の地図」を置き、学年に応じた思考法を一覧で示している。 ○他教科及びSDGsとつなげる視点を持てるよう、「学習の見通しをもとう」が設定されている。
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○進度に合わせて活用できるよう、紙面の内容を精選し、130以上のデジタルコンテンツで補完している。 ○多様な情報を整理できるよう、各学年とも巻末の「思考のヒント」で思考ツールの使い方を掲載している。	○語感を磨き、語彙を豊かにできるよう、学年に合わせて「語彙の広がり」が設定されている。 ○考えを深め、確かなものにできるよう、全学年共通の9種類の「思考の方法」を図解と共に示している。	○表現力を高められるよう、巻末に「理解に役立つ言葉」や「表現に役立つ言葉」が示されている。 ○文法学習を着実に進められるよう、各学年とも「言葉と文法 解説編」をまとめて配置している。	○自身の表現に活用できるよう、巻末に「語彙ブック」を置き、活用場面に合った語彙を示している。 ○話す、書く学習において題材設定の参考にするよう、巻末に各学年とも60以上のテーマ例を示している。
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○読書活動につなげられるよう、「世界を広げる本」など3年間で422冊の幅広い図書を紹介している。 ○学習に無理なく取り組めるよう、各学年とも8単元と巻末の資料で構成されている。	○読書意欲を高められるよう、「小さなデジタル図書館」で読書記録カードや推薦図書一覧が示されている。 ○読書経験を増やせるよう、各学年とも読み応えのある文学的な文章が採用されている。	○読書の幅を広げられるよう、各単元末に「広がる本の世界」を置き、関連図書を紹介している。 ○思考する時間を十分確保できるよう、3学年を1単元少なくする配慮をしている。	○読む力を着実に身に付けられるよう、各学年とも20以上の「読むこと」教材を扱っている。 ○読書に興味・関心を持てるよう、読書単元「本の世界を広げよう」で、テーマ別に図書を紹介している。
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○特性を超えて識別しやすいよう、色の他、マークや文字情報等を加え、要点や学習の流れを明示している。	○基礎・基本の定着が図られるよう、文法単元において重要なワードは赤色の太文字で示されている。	○用語を理解し活用できるよう、各教材冒頭の「学びナビ」で重要語句をゴシック体で示し、紹介している。	○古典学習に親しめるよう、資料を充実させるとともに古文を太字楷書体で大きく表示している。
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○苦手感を抱かずに学習に取り組めるよう、文法学習についてはゲーム仕立ての流れで構成している。	○教科の学習に親しめるよう、表紙や扉絵など、随所に繊細かつ迫力のある視覚資料が採用されている。	○日常生活を想起しながら学習できるよう、言語の学習の導入では、会話仕立てで場面を示している。	○主体的な思考につなげられるよう、見開きで学習の流れやポイントを示すなど、情報を充実させている。
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○身体的負担を軽減できるよう、各学年とも情報を精選して頁数を削減し、軽量化が図られている。	○生活体験を補完できるよう、各学年とも巻末に100頁を超える豊富な資料を用意している。	○思考を助ける書き込みを容易にできるよう、紙面の情報を精選した上で周囲に十分な余白を設けている。	○1年以上の使用に耐えられるよう、堅牢な表紙及び紙面を採用し、耐久性を担保している。
概要		生徒が進度に合わせて活用できるよう、紙面の内容を精選し、130以上のQRコンテンツで補完している。	生徒が生活体験を補完できるよう、各学年とも巻末に100頁を超える豊富な資料を用意している。	生徒が身に付けた力を発揮する場として「学びのチャレンジ」や「総合」教材を置き、問題解決型学習に取り組ませている。また、個の学びに活用できよう、他教科分も併せて「まなびリンク」をデジタル版の資料集として用意している。	生徒が読む力を着実に身に付けられるよう、各学年とも20以上の「読むこと」教材を配置したり、古典に関する資料を充実させるとともに古文を太字楷書体で大きく表示したりしている。

種目[書写]

	発行者名	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村	
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○基礎的・基本的な知識・技能が身に付けられるよう、各学年に書写テストを掲載している。 ○主体的に学習に取り組めるよう、手書きや行書の意味を考えるコラムを設けている。	○基礎的・基本的な技能が身に付けられるよう、巻頭に姿勢や用具の扱い方等を動画でまとめている。 ○学び方を身に付けられるよう、各教材の冒頭にポイントをまとめたコーナーを設定している。	○身に付けた知識を生かせるよう、各単元の終わりにまとめと振り返りを書く欄が設けられている。 ○学習したことを深められるよう、各教材の最後に定着を図る頁を見開きで設けている。	○主体的に学習に取り組めるよう、各教材に学習のめあてをまとめた「学びのカギ」を掲載している。 ○問題解決に円滑に取り組めるよう、楷書と行書の違いや特徴を表す観点を付している。	
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○学習したことを実生活に生かせるよう、巻末に様々な書式を知る書写活用ブックを位置付けている。 ○文字の歴史に親しめるよう、各学年に文字文化についてのコラムを複数掲載している。	○学習内容の定着を図れるよう、各教材の最後に学んだ内容を振り返る欄を設けている。 ○文字文化に触れられるよう、文字の成り立ちや変遷を取り上げた教材を配置している。	○学び方を身に付けられるよう、巻末に情報を整理するための方法をまとめている。 ○国語科の学びを生かした学習を進められるよう、各学年に読み物教材と関連した活動を設けている。	○意欲的に学習に取り組めるよう、巻頭に、書写の基礎・基本をまとめた頁を掲載している。 ○知識や経験を生かした学習を進められるよう、各学年に今日的な課題を扱う活動を設定している。	
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○身に付けた知識を活用できるよう、各学年に生活経験と関連させた学習活動を位置付けている。 ○意欲的に問題を解決できるよう、各教材に学習の手順を明記している。	○学習したことを実生活と関連付けて捉えらえるよう、文字に関わる仕事を紹介する頁を設けている。 ○書写への関心を高められるよう、巻頭と巻末に馴染みのある詩や歌詞を手書きしたものを掲載している。	○学習意欲を高められるよう、歴史上の人物の自筆作品を掲載している。 ○これまでの学習を生かして、発展的な学習に取り組めるよう、3学年に選択課題を設定している。	○学習内容を自分事として捉えられるよう、巻末に文字文化に触れる教材とQRコードを配置している。 ○書写への意欲を高められるよう、「手書きのよさ」について話し合う教材を配置している。	
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○学習の見通しを持てるよう、各教材の最初に、学習内容をまとめた「書写のかぎ」を掲載している。 ○書写の技能を系統的に習得できるよう、各学年の冒頭に学習内容の発展性を示している。	○身に付けた知識を活用できるよう、各学年に国語科で学習した教材を視写する活動を設けている。 ○学び方を身に付けられるよう、各学年に毛筆を学習した後に硬筆を練習する頁を設定している。	○学習内容に親しめるよう、行書の筆使いを手の動きと関連付けて記載している。 ○主体的に学習に取り組めるよう、各教材に同じ学習過程を記載している。	○学習したことを深められるよう、各学年に国語科の内容と関連させた教材を取り上げている。 ○学習内容を発展的に活用できるよう、文字と日常生活との関わりについて学ぶコラムを掲載している。	
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○毛筆の学習に無理なく取り組めるよう、各学年に解説付きの動画を掲載している。 ○楷書と行書との違いに気付けるよう、行書の書き方を4つの動きに分類して示している。	○見通しを持って学習を進められるよう、全ての教材に学習目標と振り返りを示している。 ○学習意欲を高められるよう、47都道府県名を行書で書く活動を取り上げている。	○学習したことを活用できるよう、各学年に日常生活と関連付けた事例を取り上げている。 ○学習内容を理解できるよう、各学年に毛筆と硬筆の運筆を確認できるQRコードを掲載している。	○見通しを持って学習を進められるよう、各教材に学習の進め方のステップを示している。 ○書写のよさに気付けるよう、巻末に教科書制作に関わった人達のメッセージ動画を設けている。	
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○学習内容の定着を図られるよう、小学校の学習内容を復習できる教材を取り上げている。 ○学習内容を確実に身に付けられるよう、1単元に1つの指導事項で学習できるようにしている。	○学習内容を確実に身に付けられるよう、教材を見開き2頁で構成し、わかりやすくしている。 ○学習内容の定着を図られるよう、1教材に1つの目標を設定している。	○学習内容の定着を図られるよう、巻末に書写テストや補充の教材集を掲載している。 ○書写の学習に無理なく取り組めるよう、各学年に単元数と配当時数を適切に設定している。	○新しい学び方を発見できるよう、各教材に学習に役立つQRコードを掲載している。 ○発展的な学習に取り組めるよう、巻末に日常に役立つ書式をまとめ、紹介している。	
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○毛筆のよさを感じ取れるよう、各学年に筆の穂先の動きを視覚的にわかりやすく提示している。	○学習の流れを視覚的に捉えられるよう、発展学習の教材に手順がわかる記号が付されている。	○1年間の学習の見通しを持てるよう、各学年の扉の頁に学習のめあてを端的に記載している。	○毛筆に興味を持てるよう、目次に3年間で取り扱う課題を記載している。	
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○学習内容に親しめるよう、各学年に様々な登場人物の問いかけで学びを焦点化している。	○学習内容を理解できるよう、学習のポイントや留意点を吹き出しでわかりやすく記載している。	○書写の学習内容が理解できるよう、巻頭に3年間の学びをわかりやすく図示している。	○学習内容を理解できるよう、最後の教材に、3年間のまとめを見開きで掲載している。	
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○書写の学習に適するよう、手書き文字に近い特別な明朝体を使用している。	○書く活動を効率的に行えるよう、硬筆で書く、消すという使用に対応できる紙の材質を取り入れている。	○読む負担を軽減できるよう、横幅の広いA B版で文字をできるだけ大きく表記している。	○書く活動を効率的に行えるよう、書く練習をする「書写ブック」を別冊で製本している。	
概要		基礎的・基本的な知識・技能が身に付けられるよう、各学年に書写テストを掲載している。また、楷書と行書との違いに気付けるよう、行書の書き方を4つの動きに分類して示している。	学び方を身に付けられるよう、各学年に毛筆を学習した後に硬筆を練習する頁を設定している。また、学び方を身に付けられるよう、各教材に学習のポイントをまとめている。	これまでの学習を生かして、発展的な学習に取り組めるよう、義務教育の最終段階である3学年に選択課題を設定している。また、学習内容に親しめるよう、行書学習のはじめの教材に、行書の筆使いを手の動きと関連付けてわかりやすく記載している。	問題解決に円滑に取り組めるよう、楷書と行書の違いや特徴を表す観点を付している。また、学習内容を発展的に活用できるよう、文字と日常生活との関わりについて学ぶコラムを掲載している。	

種目[社会（地理的分野）]

	発行者名	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○地理的な見方・考え方を意識して学習に取り組めるよう、巻頭と章のはじめに「地理を学ぶミカタ」を掲載している。 ○主体的・対話的で深い学びにつながるよう、章の冒頭と終末に「みんなでチャレンジ」を設けている。	○地理的な見方・考え方を活用した学びができるよう、適所に資料活用能力を高める「地理の技」を設けている。 ○地域的特色について多面的・多角的に考察できるよう、節の終末に「学習のまとめと表現」を設けている。	○地理的な見方・考え方を働かせながら学習に取り組めるよう、巻頭に解説を掲載している。 ○学習内容を深められるよう、章末に思考ツールや話し合い活動を取り上げている。	○地理的な見方・考え方を意識して学習に取り組めるよう、巻頭に解説する頁を掲載している。 ○学習内容を深められるよう、節の終末にコーナーを設けて議論のテーマを示している。
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○現代的な諸課題を把握できるよう、巻頭に持続可能な社会の実現に向けた5つの視点を示している。	○現代的な諸課題について把握できるよう、巻頭で「地球的課題とSDGs」について取り上げている。	○単元のまとめごとに見直しを持って学習を進められるよう、巻頭で「教科書を活用した学び方」を特集している。	○小単元の学習に見直しを持てるよう、節のはじめに単元を貫く問いを立てる活動を示している。
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○学習内容に興味・関心が持てるよう、青森ねぶたをはじめ、本県の自然や文化、産業に関わる資料を取り上げている。 ○意欲的に学習に取り組めるよう、学習内容に対応したQRコンテンツを掲載している。	○学習内容に親しめるよう、適所に青森ねぶた祭等、本県とかがわりの深い資料を掲載している。 ○学習意欲を高められるよう、導入資料でキャラクターを用い、ヒントや考察の視点を示している。	○学習内容に興味・関心が持てるよう、節の冒頭に各地域の特色を端的に表したイラスト地図を掲載している。 ○身近な地域への関心を高められるよう、青森ねぶた祭等、本県の産業や文化に関する資料を取り上げている。	○学習内容に興味・関心を持てるよう、各頁に吹き出しで解説をするキャラクターを配置している。 ○意欲的に学習に取り組めるよう、小単元の各頁に、学習内容に対応した「教科書QRコンテンツ」を掲載している。
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○小学校の学びを生かせるよう、各単元の導入部に小学校で学習した内容を用語や写真で振り返る頁を設けている。 ○基礎的・基本的な事項を踏まえ、地理的な見方・考え方を活用して深い学びにつながるよう、「まとめの活動」に言語活動を設定している。	○学習内容を生かし、持続可能な社会の実現に向けた学習に発展的に取り組めるよう、「クロスロード」を掲載している。 ○学習内容を深めることができるよう、大単元末に学習内容を振り返る頁を設けている。	○身に付けた知識を活用できるよう、「アクティブ地理」で、地域課題の解決策を考える学習課題を設定している。 ○社会的事象を歴史・公民や他教科と関連させて捉えられるよう、脚注に関連する項目を紹介するコーナーを設けている。	○小学校の学びを生かせるよう、各章のはじめに小学校で学習した内容を振り返るコーナーを設けている。 ○歴史・公民と関連させて学習できるよう、脚注に「連携コーナー」を設けている。
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○学習の見直しを持てるよう、単元の冒頭で学習課題に結び付く資料と発問を掲載している。 ○課題意識を高められるよう、章や節のはじめに、学習対象となる地域を大観させる頁を設け、探究課題を設定している。	○世界や日本の諸地域の生活を理解できるよう、側注や脚注に当事者の話を紹介している。 ○本文に沿って課題を追究できるよう、解説部分や脚注に考え方のポイントを示している。	○地域的特色や人々の暮らしが捉えやすいよう、単元の導入では大判の写真に掲載している。 ○生徒が進んで学習に取り組めるよう、頁下部に作業課題が書かれたコーナーを設けている。	○地域的特色を捉えやすいよう、単元の導入に複数の資料と問いが掲載されている。 ○表現力を高められるよう、本文の終末に「表現」コーナーを設け、学習内容を説明する活動を設定している。
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、1単位時間で学習する学習課題の設定や、課題解決のための資料等をバランスよく掲載している。	○基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、見開き2頁に1単位時間で扱う資料を豊富に掲載している。	○意欲的に調べ学習ができるよう、全体に渡って資料を多く掲載し、側注に語句の解説や活用のポイントを掲載している。	○地理的分野の学習内容の定着を図れるよう、まとめと振り返りの箇所を精選して設定し、地理学習の最初の単元に時数を多く配分している。
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○生徒が読みやすくなるよう、UDフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに対応した配色にしている。	○生徒が読みやすくなるよう、UDフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに対応した配色にしている。	○生徒が読みやすくなるよう、UDフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに対応した配色にしている。	○生徒が読みやすくなるよう、UDフォントを使用し、カラーバリエーションに配慮した配色を取り入れている。
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○どの生徒にも理解しやすいよう、本文は平易で読みやすい表現となっている。 ○学習したことを確認したり、調べ学習を行ったりしやすいよう、巻末に「用語解説」を掲載している。	○学習内容が理解できるよう、本文は丁寧な表現を用いて説明している。 ○学習しているところを検索しやすいよう、全頁に色別のインデックスを表示している。	○学習内容が理解できるよう、本文は因果関係を捉えやすく説明している。 ○学習内容を理解しやすいよう、コラムや側注の解説に図解や写真が添えられている。	○どの生徒にも理解しやすいよう、本文は平易な表現を用いて説明している。 ○問題解決に意欲的に取り組めるよう、巻末に世界の主な国や日本の都道府県の概要がわかる統計資料や用語解説を掲載している。
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○学習内容に親しめるよう、多くの資料を掲載できるAB判再生紙を用い、資料と本文の間に色分けされた余白を十分に確保して、見やすく資料を掲載している。	○意欲的に学習に取り組めるよう、世界と日本の学習の間に折り込みで日本列島の衛星写真を掲載している。	○学習内容に親しめるよう、鮮明な写真資料を多く掲載できるAB判用紙を用い、堅牢に製本されている。	○学習内容に親しめるよう、資料を多く掲載できる幅広なAB判で堅牢に製本されている。
概要		地理的な見方・考え方を意識して学習に取り組めるよう、巻頭と章のはじめに「地理を学ぶミカタ」を掲載している。また、課題意識を高められるよう、章や節のはじめに、学習対象となる地域を大観させる頁を設け、探究課題を設定している。さらに、基礎的・基本的な事項を踏まえ、地理的な見方・考え方を活用して深い学びにつながるよう、「まとめの活動」に言語活動を設定している。	学習意欲を高められるよう、導入資料でキャラクターを用い、ヒントや考察の視点を示している。また、本文に沿って課題を追究できるよう、解説部分や脚注に考え方のポイントを示している。	学習内容を理解しやすいよう、側注の解説に図解や写真が添えられている。	学習内容を深められるよう、章末にコーナーを設けて議論のテーマを示している。

種目[社会（歴史的分野）その1]

	発行者名	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○深い学びにつながるよう、「導入」「展開」「まとめ」の順で課題解決を図る構成となっている。 ○表現力を高められるよう、章末に思考ツールなどを用いて、学習を振り返る「まとめの活動」を設けている。	○深い学びにつながるよう、大単元の「問い」「見通し」、大単元末で「振り返り」を行う構成となっている。 ○学習内容をさらに深められるよう、章末に視点を変えて捉えなおす特設頁を設けている。	○深い学びにつながるよう、「問い」「見通し」「振り返り」で課題解決できる工夫がされている。 ○自分の考えを整理し、まとめることができるよう、章末に思考ツールの使い方を説明する頁を設けている。	○深い学びにつながるよう、「導入」「展開」「発展」「まとめ」の順で構成されている。 ○表現力を高められるよう、大単元末に、時代の特色や違いを記述でまとめる頁を設けている。	○深い学びにつながるよう、大単元を貫く「問い」、大単元末で「まとめと振り返り」ができるよう工夫されている。 ○学習した内容や情報を整理できるよう、適所に思考ツールの使い方を説明する頁を設けている。
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○学習したことを深められるよう、大単元末に年表と資料で振り返る「深めよう」を見開き2頁で掲載している。	○学習する章の時代を大観できるよう、大単元の冒頭に代表的な歴史資料を見開き2頁で掲載している。	○意欲を持って学習できるよう、見開き頁の上部に学習の手がかりや資料の気付きを掲載している。	○歴史への理解を深められるよう、単元末に多様な視点で考察する「歴史へのアプローチ」を掲載している。	○基本的な技能を身に付けられるよう、適所に歴史的な見方・考え方を学ぶ頁を掲載している。
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○学習の見通しを持てるよう、章の始めに単元を貫く問い、章末に問いを振り返る「探究のステップ」を設定している。	○基本的な技能を身に付けられるよう、適所に資料を読み取る視点を明示した「歴史の技」のコーナーを掲載している。	○興味・関心を持って学習に取り組めるよう、大単元の冒頭に、各時代の生活の様子をイラストで表現した「タイムトラベル」のコーナーを設けている。	○基礎的・基本的な技能を身に付けられるよう、各頁の資料に発問を付し、歴史的な見方・考え方を示している。	○興味・関心を持って学習に取り組めるよう、単元末に資料を基に考えたり、話し合ったりできる「チャレンジ歴史」の頁を設定している。
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○学習内容を深めたり、自分のペースに合わせて学習したりできるよう、各頁にデジタルコンテンツを使った教材が設けられている。 ○小学校で学習した知識を生かせるよう、随所に小学校で使用した資料に小学校マークを付している。	○学習内容の定着ができるよう、大単元末に「学習のまとめと表現」の頁を掲載し、年表や地図にまとめる作業を設けている。 ○小学校で学習した知識を生かせるよう、適所に既習の人物にマークを付している。	○基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、章・節・単元ごとに「学習事項の確認」を設けている。 ○表現力を高められるよう、各頁に習得した知識を活用し、説明するコーナーを設けている。	○興味を持って学習できるよう、大単元冒頭に日本と世界の出来事を把握する年表や写真を掲載している。 ○身に付けた知識を広げられるよう、高校の教科書に出てくる資料を掲載している。	○学習内容を理解できるよう、右頁下に1時間の振り返りに活用できる「確認」「表現」を付している。 ○小学校の既習事項を振り返られるよう、脚注に「連携コーナー」を設定している。
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○他者の意見を取り入れ、自分の意見を調整できるよう、章の始めや章末に対話的な活動を促す「みんなでチャレンジ」のコーナーを設けている。 ○基礎的・基本的な技能を身に付けられるよう、側注に歴史の見方・考え方を学ぶ「スキル・アップ」コーナーを設けている。	○学習したことを振り返られるよう、側注に「確認」「表現」を配置している。 ○身に付けた知識を生かし、表現できるよう、巻末に持続可能な未来の実現について考え、発表する場面を設定している。	○学習したことをさらに深められるよう、単元末に通史に加えて「地域史」のコーナーを設けている。 ○見通しを持って学習に取り組めるよう、章の始めに大単元の問いを取り上げている。	○見通しを持って学習に取り組めるよう、単元の冒頭に学習課題に結び付く資料と発問を掲載している。 ○学習内容を深められるよう、単元の終末に「ステップアップ」を掲載している。	○学習したことを深められるよう、単元ごとに「歴史を掘り下げる」を掲載している。 ○見通しを持って学習に取り組めるよう、章の始めに問いに対する答えの予想や疑問を書くコーナーを設けている。
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○社会問題や地域の課題を多角的・多面的に捉えることができるよう、各章に人権や伝統文化に関連した内容を取り上げている。	○自分の住んでいる地域に興味・関心を持てるよう、身近な地域の歴史を調べる「身近な歴史を調べよう」の頁を設けている。	○持続可能な社会に参画する態度を意識付けるよう、随所に先人の工夫や努力を紹介する「未来に向けて」のコーナーを設けている。	○地域の歴史に興味・関心を持てるよう、各章に歴史を学ぶことの意味を考える「地域からのアプローチ」のコーナーを設けている。	○地域の歴史を考えられるよう、適所に地域の事例を紹介する「出かけよう！地域調べ」の頁を設定している。
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○実際のサイズを理解できるよう、側注に遺物や文化財について、大きさを資料横に表記している。	○学習内容を理解できるよう、重要語句にはふりがなを付し、側注に解説をしている。	○学習内容を理解できるよう、難しい用語には、図や写真を付している。	○学習内容を理解できるよう、本文に資料と同じ番号が付されている。	○歴史分野の重要用語を身に付けられるよう、随所に基本用語の解説が付されている。
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○学習している年代がわかるよう、側注に簡易年表を掲載し、学習内容の時期に着色している。	○学習意欲を高められるよう、各頁にキャラクターの吹き出しで資料の着眼点を示している。	○学習している時代がわかるよう、見開き頁の右端に「年表インデックス」を掲載している。	○文語調の内容を理解できるよう、わかりやすく口語訳された資料を掲載している。	○学習している時代や世紀がわかるよう、時代ごとに単元カラーを設定している。
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○時期や年代が大観できるよう、巻末に折り込み年表を二段構成で掲載している。	○時期や年代がわかるよう、巻末に歴史年表を見開き5頁で掲載している。	○時期や年代がわかるよう、歴史年表を6頁で掲載している。	○世界の様子が理解しやすいよう、世界の様子を地図とイラストで紹介する頁を掲載している。	○時期や年代がわかるよう、巻末に折り込み年表を三段構成で掲載している。
概要	<p>深い学びにつながるよう、問題解決的な学習における各授業の関連付けがなされており、単元のまとまりを意識し、各時代の特色、時代の転換に関わる内容を習得できる構成としている。また、思考力や表現力を高められるよう、思考ツール等を用いたまとめ活動を設定している。</p> <p>深い学びにつながるよう、単元のまとめに知識の確認や思考の深まりを促す学習活動を設けている。また、当時の様子を詳細に把握できる資料を大きく掲載し、興味を持って調べ学習を行いやすいよう配慮されている。</p> <p>深い学びにつながるよう、歴史の見方・考え方を利用して時代の特色をまとめさせ、根拠を持って表現させる構成としている。また、イラストや資料から人々の営みや関係が概観できる構成としている。</p> <p>深い学びにつながるよう、導入・展開・発展・まとめ順で課題を解決する構成としている。また、時代の特色の理解を深められるまとめとなっている。</p> <p>深い学びにつながるよう、課題に対する答えを予想させ、協働的な学びを通して、課題を解決できる構成としている。</p>					

種目[社会（歴史的分野）その2]

	発行者名	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	236 令書
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○深い学びにつながるよう、「導入」「展開」「まとめ」の流れで構成されている。 ○表現力を高められるよう、脚注に「チャレンジ」のコーナーを設けている。	○深い学びにつながるよう、「つかむ」「調べる」「まとめる・表現する」流れで構成されている。 ○表現力を高められるよう、章末に時代の特色をまとめるコーナーを配置している。		○深い学びにつながるよう、「課題」「本文」「文献史料」の流れで構成されている。 ○表現力を高められるよう、単元ごとに「考えよう」のコーナーを設けている。
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○学習した内容をさらに深められるよう、大単元末に「対話とまとめの図」の頁を設定している。	○伝統や文化を理解できるよう、巻頭に日本の美を感じたり、大切さを学んだりすることができる特設頁を配置している。		○学習する年代がわかるよう、大単元の始めに年表を掲載し、重要な出来事のみ付している。
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、章末に復習問題の頁を設定している。	○基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、各頁に学習内容を振り返る「確認」「探究」を設けている。		○学習内容をより理解できるよう、欄外に人物や出来事に関する説明を多く掲載している。
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○歴史学習への見通しを持てるよう、序章において、歴史の捉え方や学び方を説明している。 ○学習したことをさらに深めるよう、適所に人物や時代を掘り下げる「もっと知りたいコラム」の頁を設定している。	○見通しを持って学習できるよう、各章に学習する時代の特色や見出し、課題を示している。 ○小学校で学習した内容を振り返られるよう、大単元の始めに人物や出来事を確認する頁を設けている。		○学習内容を深く学べるよう、詳細な記述が中心の構成となっている。 ○小学校で学習した内容を振り返られるよう、序章に小学校で学習した人物や文化を紹介する特設頁を設けている。
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○知識の定着と活用ができるよう、章末に時代ごとの特徴を記述する「ひとこと作文」のコーナーを設けている。 ○対話的な学びに取り組めるよう、章末に意見交換会を行うコーナーを設定している。	○学習内容をさらに深められるよう、各節ごとに多角的・多面的な見方ができる「歴史ズームイン」を設定している。 ○興味・関心に応じて学習できるよう、各章の始めに学習内容の情報を収集できるウェブサイトのリンクを示している。		○日本の歴史を多角的に学べるよう、随所に日本の歴史に関する多様な資料を豊富に掲載している。 ○歴史への興味・関心を高めるよう、巻末に時代ごとにまとめられた日本美術図鑑を掲載している。
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○地域の歴史に興味・関心を持てるよう、序章に地域の歴史の調べ方を紹介する特設頁を設けている。	○身近な地域の歴史を調べられるよう、序章に「地域の歴史を調べよう」の頁を設定している。		○身近な歴史に興味・関心を持てるよう、適所に文化遺産等を調べにいくフィールドワークの頁を設けている。
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○学習内容を理解できるよう、難解な語句にふりがなを振っている。	○学習内容が理解できるよう、側注に、難解な語句の補足説明を付している。		○文章を読み取りやすいよう、多くふりがなを付し、重要語句をゴシック体で表記している。
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○学習している年代がわかるよう、脚注に年表の「歴史モノサシ」を付している。	○学習している年代がわかるよう、脚注に日本の歴史の流れを意識できる「歴史モノサシ」を付している。		○日本の歴史を深く理解できるよう、適所に国の成り立ちや天皇の歴史に関連する記述を多く掲載している。
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○時期や年代が調べられるよう、巻末に、日本、朝鮮、中国、西洋の年表を示している。	○時期や年代が調べられるよう、巻末に日本と西洋の出来事が比較できる年表を掲載している。		○時代による地域の変化を理解できるよう、巻末に資料として主題図を掲載している。
概要		深い学びにつながるよう、導入、展開、まとめの過程を繰り返すことで課題が解決できるように構成されている。また、記述や対話によるまとめを展開し、内容の定着を図っている。	深い学びにつながるよう、つかむ、調べる、まとめる、表現するという問題解決的な学習を促す構成となっている。また、年表や地図を活用してまとめを行い、定着を図っている。		深い学びにつながるよう、課題、本文、文献史料の流れで課題解決できる構成となっている。また、豊富な資料から多角的・多面的な見方をできるようにしている。

種目[社会（公民的分野）その1]

	発行者名	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○深い学びにつながるよう、「つかむ」「追究」「解決」の順に展開し、探究的に課題を解決できるようにしている。 ○自らの考えを整理したり、表現したりできるよう、章末に多様な思考ツールが活用できるようにしている。	○深い学びにつながるよう、「見通し」と「振り返り」が一連の学習活動になるよう工夫している。 ○資料活用の技能を高められるよう、頭注に問いを手がかりに作業ができるコーナーを設けている。	○深い学びにつながるよう、「問い」「見通し」「振り返り」で構成されている。 ○思考力・判断力・表現力を高められるよう、章末に振り返りで思考ツールを活用する場を設けている。	○深い学びにつながるよう、章の最初に「問い」章末で「まとめと振り返り」ができるよう工夫されている。 ○収集した情報を整理できるよう、章末に思考ツールの使い方を説明する頁を設けている。	○深い学びにつながるよう、「導入」「展開」「まとめ」の流れで構成されている。 ○表現力を高められるよう、各章に図や表にまとめる活動の頁を設けている。
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○他者の意見を取り入れ、自分の意見を調整できるよう、単元末に対話的な活動を促す「みんなでチャレンジ」のコーナーを設けている。	○学習したことを生かせるよう、今日的な課題をテーマにした特設頁を多数掲載している。	○学習したことをさらに深められるよう、適所に今日的課題について考える「アクティブ公民」のコーナーを掲載している。	○身に付けた知識を実社会で生かせるよう、学習と関連した内容を読んだり、考察したりするための新聞記事を特設頁に掲載している。	○身に付けた知識を活用できるよう、政治の単元に「新聞を読み比べてみよう」を設けている。
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○社会に関心を持ち、主権者意識を高められるよう「18歳へのステップ」の頁を設けている。 ○学習内容の理解を高められるよう、各頁に動画や映像などのデジタルコンテンツが設けられている。	○多角的・多面的な見方が身に付くよう、頭注に学習内容に関連した社会事象を掲載したコラム「公民の窓」を掲載している。 ○意欲的に学習に取り組めるよう、各頁にキャラクターがヒントを示したり、コーナーを掲載したりしている。	○興味・関心を持って学習に取り組めるよう、各単元の冒頭にイラストを大きく掲載している。 ○自分事として学習に取り組めるよう、章末に身近な事例を取り上げている。	○学習内容さらに深めることができるよう、頭注に学習内容に関連した社会事象を掲載したコラムを掲載している。 ○学んだことを多角的・多面的に考察できるよう、章末にまとめの頁「チャレンジ公民」を掲載している。	○学習したことを深められるよう、単元末に考えをまとめる「学習のまとめと発展」を設けている。 ○習得した知識や技能を活用されるよう、終章に「課題の探求」を掲載している。
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○学習内容をさらに深めたり、広げたりできるよう、章末に「もっと知りたい」の頁を設定している。 ○小学校で学習した内容を振り返ることができるよう、章の始めに「小学校で習ったことば」や資料に「小学校マーク」を付ける工夫をしている。	○公民的な見方・考え方ができるよう、章の導入に現代社会の「見方・考え方」を配置している。 ○学習したことを振り返られるよう、脚注に小学校の学習や他分野との関連について掲載している。	○小学校の学習や地理、歴史を振り返ることができるよう、随所に「小・地・歴」のアイコンを付している。 ○学習の見通しを持てるよう、章末に「探究学習への準備」のコーナーを設けている。	○学習内容を理解できるよう、単元全体で問い・追究・まとめ・振り返りとなる構成となっている。 ○身に付けた知識を関連付けられるよう、各頁の脚注に連携コーナーを付している。	○学習内容を理解できるよう、各頁に「ここがポイント」を設けている。 ○学習したことを深められるよう、他分野に関連する資料を掲載した「もっと知りたい」の頁を設けている。
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○見通しを持って学習を進められるよう、章の始めに学習課題を確認する「探究のステップ」のコーナーを設定している。 ○学習内容を深められるよう、適所にシミュレーションできる「なるほどスキルアップ!」「やってみよう!スキルアップ」を設けている。	○見通しを持って学習に取り組めるよう、章の冒頭に「学習のはじめに」を設けている。 ○学習内容を理解できるよう、各単元の頁下部に本時の確認と表現活動を行う「確認」「表現」を設けている。	○見通しを持って学習に取り組めるよう、各章に「学習の前に」という頁を設けている。 ○表現力を高めることができるよう、章末に習得した知識を活用した「説明しよう」を掲載している。	○見通しを持って学習に取り組めるよう、単元の冒頭に学習課題を提示し、話合いや議論など多様な表現活動を設けている。 ○学習内容を理解できるよう、各頁の側注に表現活動を行う「確認」と「表現」を設けている。	○見通しを持って学習に取り組めるよう、単元の冒頭に学習課題を示している。 ○学習内容を実社会に生かせるよう、各単元の頁下部に表現活動を行う「やってみよう」を設けている。
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○持続可能な社会へ参画する態度を身に付けられるよう、終章に防災・安全や人権・平和などをテーマにした現代的な諸課題を掲載している。	○持続可能な社会へ参画する態度を身に付けられるよう、終章に地域の課題を自分事として捉え、提言できる活動を設けている。	○持続可能な社会へ参画する態度を身に付けられるよう、巻頭に特設頁を設置している。	○持続可能な社会へ参画する態度を身に付けられるよう、終章に人権及び防災・減災、伝統文化など取り上げている。	○学習内容に興味・関心を持てるよう、人権及び憲法、政治、経済、国際社会などの幅広い内容を取り上げている。
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○全ての生徒が見やすいよう、文字の大きさや資料の色づかいに配慮している。	○重要語句がわかるよう、適所に太字ゴシックで強調して表わしている。	○表やグラフを読み取りやすいよう、資料の色づかいに配慮している。	○全ての生徒が見やすいよう、表やグラフ、図の枠線の太さや色分けの仕方に配慮している。	○全ての生徒が見やすいよう、経済単元ではグラフが大きく表示されている。
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○難しい用語を理解できるよう、脚注に用語を詳しく解説する「もっと解説」のコーナーを設定している。	○学習内容を理解できるよう、各頁に図表や写真に番号を付し、本文の関連箇所にも掲載している。	○基礎的・基本的な内容が定着するよう、側注に資料や用語の解説を掲載している。	○抽象的な事象について理解できるよう、各頁にスライドショーや動画教材を準備している。	○学習の連続性が捉えられるよう、題材を通し番号で示している。
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○個別最適な学びや調べ学習を行いやすいよう、巻末に「用語解説」を一覧にまとめて掲載している。	○調べ学習がしやすいよう、巻末に「用語解説」を章ごとにまとめている。	○調べ学習がしやすいよう、巻末に索引を設け、重要語句は掲載頁を表記している。	○基本的な重要語句を身に付けられるよう、巻末に混同しやすい語句を解説する類似用語集を掲載している。	○調べ学習がしやすいよう、巻末に「さくいん」が掲載されている。
概要	<p>深い学びにつながるよう、つかむ、追究、解決の順で展開し、問題解決的な学習を取り入れ、主権者意識を高める内容も取り上げている。また、思考力や表現力を高められるよう、多様な思考ツールや学習形態を取り入れ、現代的な課題を多く掲載している。</p>					

種目[社会（公民的分野）その2]

	発行者名	227 育鵬社				
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○深い学びにつながるよう、「つかむ」「調べる」「まとめる・表現する」の順で構成されている。 ○表現力を高められるよう、各頁に「探究」を配置している。				
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○学習内容を深められるよう、各章に「学習を深めよう」「やってみよう」などのコラムを設けている。				
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○地域への興味・関心を持てるよう、適所に地域の様々な取組を取り上げている。 ○社会に参画する態度が身に付くよう、巻末にレポートでまとめる単元を設けている。				
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○対話的な学びが行えるよう、各章に話し合いを促す「TRY!」の頁を設定している。 ○主体的な学びが行えるよう、各頁に公民としての見方・考え方を説明するコーナーを掲載している。				
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○見通しを持って学習できるよう、大単元の始めに「どうして学ぶの？」のコーナーを設けている。 ○学習内容の定着が図られるよう、各頁下部に「確認」を記載している。				
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○持続可能な社会へ参画する態度を身に付けられるよう、終章にSDGsについて学ぶ頁を設定している。				
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○小さい文字が読み取れるよう、漢字のふりがなをゴシック文字で表記している。				
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○重要語句が理解しやすいよう、側注に解説を設けている。				
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○調べ学習がしやすいよう、巻末に「用語解説」と「さくいん」を設けている。				
概要		深い学びにつながるよう、1単位時間や単元の中で、課題を解決できる内容を取り入れるとともに、公民学習への興味・関心を高めることのできる教材を掲載している。				

種目[地図]

	発行者名	2 東書	4 6 帝国			
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、巻頭に地図帳の活用方法について図解している。 ○資料活用能力や思考力を高められるよう、テーマ資料に複数の資料を組み合わせるための観点に掲載している。	○基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、巻頭に地図の種類や見方、使い方について図解している。 ○地理的な見方・考え方を活用できるよう、随所に「地図で発見」のコーナーを設け、主題図を読み取る視点を詳しく掲載している。			
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○現代社会の諸課題を理解できるよう、巻頭に持続可能な社会の実現を目指すSDGsを学ぶコーナーを設けている。 ○防災・安全への意識が高められるよう、ハザードマップの見方や防災施設の機能について学習する「自然災害」の頁を設けている。	○社会に参画する力を身に付けるよう、巻頭に持続可能な社会の実現に向けた課題解決の特集頁を設けている。 ○防災・安全への意識が高められるよう、東日本大震災の被害や自然災害に対する備え等について学ぶ特集頁を設けている。			
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じた工夫や配慮がなされているか。	○学習内容に興味・関心を持てるよう、授業で学習した内容に関連する主題図や資料を掲載している。 ○学習意欲を高められるよう、見開き頁ごとにヒントを問いかけるキャラクターを掲載している。	○学習内容に興味・関心を持てるよう、修学旅行や平和学習等に活用できる特集頁を掲載している。 ○身近な地域に興味・関心を持てるよう、青森ねぶた祭や岩木山山麓の果樹栽培等、本県をはじめ、東北地方に関する資料を見開きで掲載している。			
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○発展的な学習ができるよう、見開き頁ごとにデジタル地図コンテンツをQRコードで掲載している。 ○学習したことを深められるよう、歴史と連携した「主な歴史の舞台」のマークを付している。	○基礎的・基本的な学習内容を踏まえ、発展的な学習につなげられるよう、QRコードを掲載して社会的事象を追究できるようにしている。 ○歴史や公民の学習でも活用できるよう、関連が深い資料に「歴」「公」マークを付している。			
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○学習した地域的特色をさらに深められるよう、一般図、基本資料、テーマ資料の順に掲載している。 ○学習内容を深められるよう、時代の変遷を比較できる資料を掲載している。	○自分の考えを広められるよう、一般図、鳥瞰図、資料図の順に掲載している。 ○地域的特色が考察できるよう、テーマによって資料図の縮尺を統一し、簡単に比較できる工夫をしている。			
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○世界や日本の諸地域の特徴を理解できるよう、資料頁に地形や建物等の写真を交えた解説を掲載している。	○地域的特色が理解できるよう、自然環境や産業に関する特徴的な主題図や写真、図版をバランスよく配置している。			
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○生徒が読みやすくなるよう、UDフォントを使用し、振り仮名をゴシック体で表記している。	○生徒が読みやすくなるよう、UDフォントを使用し、重要な地名は縁取りをしている。			
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○地図学習に親しめるよう、単元の冒頭に鳥瞰図を掲載している。	○学習している地域の位置を把握できるよう、地図中に世界地図や日本地図の窓を掲載している。			
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○長期間の使用ができるよう、軽量のA4判用紙を使用し、堅牢な糸かがり綴じ製本となっている。	○長期間の使用ができるよう、軽くて丈夫な地図帳専用のA4判用紙を使用し、堅牢な製本様式を採用している。			
概要		基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、教科書の記載内容を補ったり、深めたりする資料を掲載している。	基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、地域の特徴を捉えることができる主題図を豊富に掲載している。また、他分野との関連や、現代的な諸課題に対応する多様な資料を掲載している。			

種目[数学その1]

	発行者名	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○思考力、判断力、表現力を高められるよう、章末の「活用の問題」に、知識・技能を活用して説明する問題を多く扱っている。 ○意欲的に学習に取り組めるよう、各単元に日常生活に即した問題を取り上げ、数学を使って解決する手順を示している。	○主体的に学習に取り組めるよう、各単元の始めに単元の学習内容を見通すことができる場面を設定している。 ○数学的な表現力を高められるよう、本文中に調べたことや考えたことを表現する場面として、「伝えよう」を設定している。	○数学的な見方・考え方を身に付けられるよう、側注に問題解決に必要な見方・考え方を示している。 ○学習したことを深められるよう、単元末に「できるようになったこと」と「さらに学んでみたいこと」のコーナーを設けている。	○学習意欲を高められるよう、各章の導入に身近な題材を取り入れた「Let's Try」のコーナーを設けている。 ○数学的な見方・考え方を働かせられるよう、随所に「羅針盤マーク」を付し、意識付けできるように工夫している。	○主体的に学習できるよう、側注に学びを広げたり、深めたりする視点をキャラクターの台詞で示している。 ○学習したことを深められるよう、章末に振り返りの場面として「○章のあしあと」のコーナーを設定している。
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう、随所に、「例」に即した「問」を練習問題として設定している。 ○単元で身に付けるべき事項を確認できるよう、単元の終わりに、習得した知識・技能を活用する問題を設定している。	○基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、小学校や前の学年で学んだ用語・記号を側注に示している。 ○見通しを持って学習に取り組めるよう、各小節に「めあて」を設定し、身に付けたい内容を明確に示している。	○基礎的・基本的な知識・技能を身に付けられるよう、全ての節に「確かめよう」のコーナーを設けている。 ○思考力、判断力、表現力を高められるよう、問題解決の方法を説明する場面に「説明する力をつけよう」と記載している。	○新しい単元の学習に無理なく取り組めるよう、各章の始めに「～章を学習する前に」を設けている。 ○基礎的・基本的な知識・技能を身に付けられるよう、随所に「例」の内容を確認するための「たしかめ」を設けている。	○数学的な見方・考え方を身に付けられるよう、本文中の視点にあたる部分に下線を引いて強調している。 ○学習内容の理解度を確認できるよう、章末問題にチェックボックスを設けている。
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じた工夫や配慮がなされているか。	○学習内容に興味・関心が持てるよう1次関数の「桜の開花日を予想しよう」で弘前公園を取り上げている。 ○学習内容に親しみが持てるよう、QRコンテンツの「マイ教科書・マップ」の活用により各地域の題材を使うことができる工夫をしている。	○数学が実社会に生かされていることを知ることができるよう、巻末に「MATHFUL」のコーナーを設けている。 ○学習内容に親しみが持てるよう、単元末に「仕事のなかの数学」というコーナーを掲載している。	○学習内容に興味・関心を持てるよう、各節の始めに、身近な題材を取り上げ、疑問を引き出す工夫をしている。 ○身に付けた知識を活用できるよう、巻末にSDGsに関連した課題を取り上げている。	○学習内容に興味・関心を持てるよう、章末に仕事に数学を活用している人へのインタビュー内容を「数学しごと人」で紹介している。 ○身に付けた知識を活用できるよう、章末や巻末で探究的な課題を「数学の広場」で取り上げている。	○学習内容に興味・関心が持てるよう、正の数・負の数の単元の始めに「どんな数があるかな？」で青函トンネルを取り上げている。 ○身に付けた知識を活用できるよう、巻末にSDGsやキャリア教育に関連した題材を掲載している。
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○見通しを持って学習を進められるよう、巻末に小学校での既習事項や他学年での学習内容、高校での学習内容をイラストで示している。 ○小学校で学習したことを活用できるように、0章に「素因数分解」の内容を扱う工夫をしている。	○章で学んだことの良さに気づくことができるよう、巻末に「学びの振り返り」の問題を設けている。 ○学習内容のつながりを意識して学習を進められるよう、巻末に前学年の振り返りを掲載している。	○学習内容のつながりを意識して学習を進められるよう、各領域の始めの頁に既習事項のまとめを掲載している。 ○進んで問題解決に取り組めるよう、小節ごとに、学習を振り返り、次の学習につなげる工夫をしている。	○学習の見通しを持てるよう、巻末に既習内容とそのつながりを振り返ることができる「学びのマップ」を掲載している。 ○発展的な学習に興味・関心を持てるよう、3年生の巻末に高校で学習する内容を「ひろがる数学」で紹介している。	○基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう、随所に「例」、「例題」を示し、学習した内容を確認できる「問」の問題を設定している。 ○問題解決的な学習が図られるよう、「～の利用」の内容では、3つのステップ形式で学習の流れを示している。
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配慮されているか。	○数学的な見方・考え方を身に付けられるよう、本文にキャラクターの台詞を示し、深い学びの実現に向け、学びのつながりを自覚させる工夫をしている。 ○学習内容を定着させられるよう、節や章の最後に数学的な見方・考え方を振り返る場を設定している。	○数学的な見方・考え方が身に付くよう、巻頭に問題の様々な見方を具体例とともに示している。 ○意欲的に学習に取り組めるよう、随所に「例題」や「活動」の場面で学習してから「たしかめ」や「Q」の問題を解くように設定している。	○主体的に学習に取り組めるよう、本文にキャラクターの対話を示し、問いを持たせる工夫をしている。 ○個々の能力に応じて無理なく学習に取り組めるよう、章末に基本・応用・活用・深めようの4種類の問題を設定している。	○問題場面を正確に把握できるよう、小節の始めに、図やイラストを用いて具体的に示している。 ○主体的に問題解決に取り組めるよう、各所に観察や操作ができるQRコンテンツを豊富に掲載している。	○基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう、「例」に学習内容を明記している。 ○意欲的に学習に取り組めるよう、各章の始めに操作や観察ができるQRコンテンツを多く配置している。
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○主体的に学習に取り組めるよう、随所に学習場面やねらいに応じたQRコンテンツを設け、個別最適な学びの実現に向けた工夫をしている。 ○学習内容の理解度を自ら確認できるように、適所につまづきを早期段階で発見できる「クイックチェック」を設けている。	○学習したことを活用できるように、各所に「プラスワン」、「力をのばそう」という補充問題を設定している。 ○日常や社会的事象への関心が高められるよう、巻末に「活用・探究」の頁を設けている。	○数と式の領域で学習したことを定着させられるよう、節の後に計算問題のみの「計算力を高めよう」の頁を設けている。 ○情報処理能力を高められるよう、各学年に、電卓やコンピュータ情報通信ネットワークを扱う場面を設定している。	○問題に無理なく取り組めるよう、各章末に「たしかめよう」、「力をのばそう」、「学んだことを活用しよう」の流れで問題を設定している。 ○習熟度に応じて学習に取り組めるよう、巻末に補充問題や実力アップ問題を設定している。	○単元で学習したことを定着させられるよう、「章末問題」では演習問題を豊富に設けている。 ○学習した内容を深められるよう、全学年の巻末の発展問題に高校の内容を取り入れている。
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○読みやすいよう、文章の改行位置を工夫したり、重要語句のフォントを変えたりしている。	○読みやすいよう、文章の改行位置を工夫しているほか、1年生は、小学校との差を小さくするために文字の大きさを大きくしている。	○読みやすいよう、文章を分節改行しているほか、重要語句のフォントを変え、新出語句にはルビを付けている。	○読みやすいよう、意味や分節による改行をしたり、配色を工夫したりしている。	○読みやすいよう、意味や分節による改行をしているほか、重要語句のフォントを変え、新出語句にはルビを付けている。
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○学び方を身に付けられるよう、巻頭に主体的・対話的で深い学びの実現に向けて「大切にしたい数学の学び方」を掲載している。	○学び方を身に付けられるよう、練習問題のタイトルに「たしかめよう」、「○章をふり返ろう」、「力をのばそう」という表現を使用している。	○学び方を身に付けられるよう、側注にあるQRコンテンツ「パトロール隊」で誤りやすい箇所を取り上げ、説明している。	○余白を生かしたレイアウトにより、資料や図表を見やすく配置している。	○意欲的に学習に取り組めるよう、操作したり動きを確認できたりするQRコンテンツを豊富に取り入れている。
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○学習したことを振り返られるよう、巻末に既習事項をまとめていることに加え、QRコンテンツで練習問題も掲載している。	○学習したことを振り返られるよう、巻末に切り離して使用できる学習内容のまとめを掲載している。	○学習したことを振り返られるよう、巻末に練習問題を掲載している。	○学習したことを振り返られるよう、巻末のQRコンテンツで既習事項を掲載している。	○学習したことを振り返られるよう、巻末に練習問題を設けていることに加え、QRコンテンツに既習事項も掲載している。
概要		思考力、判断力、表現力を高められるよう、章末の「活用の問題」に、知識・技能を活用する記述式の問題を多く扱っており、主体的・対話的で深い学びにつなげる工夫をしている。	意欲的に学習に取り組めるよう、実社会と数学との関連に気づかせる資料を多く掲載している。	学習内容に興味・関心を持てるよう、身近な題材を取り上げ、疑問を引き出す工夫をしている。	基礎的・基本的な知識・技能を身に付けられるよう、学んだことを確認しながら進めている。	数学的な見方・考え方を身に付けられるよう、随所に役に立つ考え方を示すことで主体的・対話的で深い学びにつなげる工夫をしている。

種目[数学その2]

	発行者名	104 数研	116 日文			
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○数学的な見方・考え方を身に付けられるよう、随所にキャラクターの対話で問題解決に必要な見方・考え方を示している。 ○思考力を高められるよう、各所に「方法の説明」や「理由の説明」を検討する頁を設けている。	○数学的な見方・考え方を身に付けられるよう、側注に「大切な見方・考え方」のコーナーを設け、簡潔に示している。 ○自ら問題を解決する力を高められるよう、各章に「学びに向かう力を育てよう」のコーナーを設けている。			
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○今日的な課題への意識を高め、進んで問題解決に取り組めるよう、巻頭にSDGsに関連する内容を取り上げている。 ○学習意欲や理解を高められるよう、各領域に5種類のデジタルコンテンツを使った教材を設けている。	○新しい章の学習を円滑に進められるよう、章の始めに既習事項を確認する「次の章を学ぶ前に」を設けている。 ○見通しを持って学習を進められるよう、随所にキャラクターの吹き出しで考え方を示している。			
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じた工夫や配慮がなされているか。	○学びの発展の機会を持てるよう、単元末に高等学校の学習につながる内容を取り上げている。 ○学習内容に興味・関心を持てるよう、単元の始めに、身の回りにある事柄を題材として取り上げている。	○思考力、判断力、表現力を段階的に高められるよう、証明問題の序盤では穴埋め式にする配慮をしている。 ○身に付けた知識を活用できるよう、巻末にSDGsやキャリア教育、プログラミング的思考などに関する内容を取り上げている。			
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○基礎的・基本的な知識・技能を身に付けられるよう、各章の始めの「ふりかえり」に既習事項を掲載している。 ○主体的に学習に取り組めるよう「Q」や「TRY」で、問いを持たせるような問いかけをしている。	○基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、側注に「確かめ」として既習事項を掲載している。 ○学習したことを定着できるよう、巻末に補充問題を掲載し、1年生では小学校の復習も扱っている。			
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○学び方を身に付けられるよう、巻頭に、例として、「学習の進め方」や「ノートづくり方」、「レポートを書こう」を示している。 ○学習状況を自己評価できるよう、巻末に「学びの自己評価」を掲載している。	○学習内容を正確に把握できるよう、小節の始めに「めあて」を明確に示している。 ○学習したことを深められるよう、巻末に「ふり返りシート」を設けている。			
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○基礎的・基本的な事項を確実に身に付けられるよう、本文に数多くの例題を設定している。 ○習熟度に応じて学習に取り組めるよう、巻末に応用問題を「チャレンジ編」として掲載している。	○無理なく学習に取り組めるよう、総頁数を抑え、配当時数にゆとりを持って学習できる分量で構成している。 ○論理的思考力を身に付けられるよう、全学年の巻末に、WEBコンテンツを活用した「プログラムと数学」を設けている。			
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○読みやすいよう、重要語句のフォントを変えるほか、まとめの背景に色を付けるなどの工夫をしている。	○読みやすいよう、文章の改行位置を工夫したり、重要語句のフォントを変えたりしている。			
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○学習の見通しが持てるよう、側注に既習事項を示す「ふりかえり」や要所で補助的な図を示している。	○各章の始めは、問いかけから始め、問いを持たせられるよう、工夫している。			
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○各学年の学習内容の系統性がわかるよう、巻末に各領域のまとめとつながりを掲載している。	○対話的な学びができるよう、巻末に切り離して使用できる「対話シート」を掲載している。			
概要		○学びの発展の機会を持てるよう、高等学校の学習につながる内容を取り上げている。	○学習内容の定着が図られるよう、1時間単位の「めあて」を明確に示している。			

種目[理科]

	発行者名	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○探究の過程に沿って時間をかけて活動できるよう、各単元に「じっくり探究」のコーナーを設定している。 ○学習活動の中で学びを深められるよう、脚注に必要な「理科の見方・考え方」を具体的に示している。	○探究の流れを身に付けられるよう、各学年段階で重点となる活動に目立つマークで表示している。 ○基礎的・基本的な知識・技能を身に付けられるよう、3年巻末に3年間の復習問題を掲載している。	○理科の見方・考え方を働かせられるよう、各頁下に必要とされる「この時間の見方」「考え方」を明記している。 ○思考力や判断力を高められるよう、巻末に全国学力・学習状況調査や高校入試等の問題・解答例を掲載している。	○学び方を身に付けられるよう、巻頭に探究の進め方について、例を基に掲載している。 ○科学的に探究する力を重点的に育成できるよう、各単元に「疑問から探究してみよう」を設定している。	○探究の学習過程を段階的に身に付けられるよう、各単元に「探Q実験」を設定している。 ○考えを深められるよう、「それってホント？」で批判的な思考を働かせ、妥当性を吟味する場面を設けている。
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○日常生活や社会と学習内容を結び付けられるよう、随所に「まちなか科学」や「なるほどね!」等のコラムを掲載している。 ○防災・減災に対する意識が向上するよう、関連箇所に読み物「防災特集」やデジタルコンテンツ「VR防災」を設けている。	○学習内容に見通しを持てるよう、単元冒頭に「これまで学習したこと」と「これから学習すること」を見開きで紹介している。 ○学習したことを深められるよう、1学年巻末に「探究の進め方」を詳しく示している。	○科学的に考え探究する力を身に付けられるよう、随所にコラム「理路整然」を掲載している。 ○理科の有用性を学ぶことできるよう、巻頭に「なぜ理科を学ぶの？」を漫画形式で設けている。	○進んで問題解決できるよう、巻末に「理科で使う算数・数学」のコーナーが設けられている。 ○基礎的な技能を身に付けられるよう、巻頭にレポートの書き方を掲載し、本文中にも「私のレポート」を例示している。	○意欲的に課題解決に取り組めるよう、少量の試薬による個別実験を採用し、環境にも配慮している。 ○見通しを持って観察・実験ができるよう、目的を明示して何を解決するのかを意識できるようになっている。
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○興味・関心を持って学習に取り組めるよう、巻頭に学習内容に関連する書籍を紹介する「科学の本だな」のコーナーを掲載している。	○観察・実験の結果が得られやすくなるよう、操作手順に「コツ」のマークを付して配慮している。	○学習意欲を高められるよう、青森市のねぶた祭や浅虫水族館など青森県に関連のある写真を多く掲載している。	○興味に応じて授業以外での学習に生かせるよう、巻末に「校外の施設を活用しよう」を掲載している。	○興味・関心を高められるよう、関連箇所に「部活ラボ」「お料理ラボ」等、多くのジャンルのコラムを掲載している。
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○学習内容を理解する支援となるよう、つまづきやすい箇所にデジタルコンテンツ「シミュレーション」を設定している。 ○学習内容とのつながりを実感できるよう、脚注や単元冒頭に既習事項を「これまでに学んだこと」、今後の内容を「発展」に掲載している。	○学習内容に親しめるよう、「そのころの日本」コーナーで、当時の日本で起きた出来事や様子について示している。 ○学習した内容をさらに深められるよう、本文中に関連する高等学校の学習内容をコラムで取り上げている。	○疑問点を質問して解決できるよう、紙面と同じ内容のウェブページ上にチャットボット「理科マス!」を掲載している。 ○学び直しや学んだことの再確認ができるよう、学習の区切り毎に課題とまとめを表記している。	○学んだことを日常生活や環境と関連付けて考えられるよう、読み物「ハローサイエンス」を豊富に掲載している。 ○学習内容を高等学校での学びにつなげられるよう、各単元末に「広がる科学の世界」をコラムとして設けている。	○学んだことを深められるよう、単元末に日常生活での疑問を探究する「みんなで探Qクラブ」を設けている。 ○習得した知識を活用して自分の思考を表現できるよう、関連箇所近くに「Action活用してみよう」を掲載している。
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○学習内容の理解を深められるよう、2学年巻末に温帯低気圧の立体模型ペーパークラフトを掲載している。 ○学習前後での変容に気付けるよう、各単元や章の冒頭と終末にある「Before&After」で問いかけ、考えさせる場面を設定している。	○身に付けた知識を実感できるよう、「やってみよう」のコーナーに目や火山の模型づくり等、ものづくりに関するコラムを多く掲載している。 ○学んだことを活用できるよう、単元末に文章や資料を読み取る読解力問題を設定している。	○気づきや対話を基に学習課題を作れるよう、課題設定前の場面に事象の写真や吹き出しによる問いかけで提示している。 ○実験前後の仮説や立案、考察等の活動に時間をかけて取り組めるよう、ゆとりのある単元構成としている。	○何を学んだのかを確認しやすくなるよう、課題とそれに対する結論を明記している。 ○習得した知識を活用して考え結論を導き出せるよう、体内にある器官の模式図を大きく掲載し、直接書き込める工夫をしている。	○様々な視点から課題解決ができるよう、1つの課題に対して複数の検証方法を提示している。 ○表現力を継続して身に付けられるよう、当該箇所に「かきこみ」を示し、グラフやモデル図を直接書き込みができる欄を設けている。
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○学習過程の見通しを持ちやすくなるよう、1単位時間の内容を見開き1頁に整理して表示している。	○無理なく学習を進め、基礎的・基本的な知識が定着できるよう、各領域の内容や分量が均等に配分されている。	○見通しを持って学習できるよう、それぞれの学年において各領域の単元を3つの章からなる構成としている。	○基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、単元末に「要点と重要用語の整理」を設け、重要語句を左側にまとめて配列している。	○基礎的・基本的な内容を定着できるよう、無理なくスモールステップで学習を進められる分量にしている。
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○複数データを表すグラフを認識しやすくなるよう、線の種類や配色を変更し、カラーユニバーサルデザインに配慮している。	○小学校との段差を軽減して学習できるよう、1学年では他学年よりも文字を大きく表示している。	○観察・実験を安全に進められるよう、注意すべき点を黄緑色の背景と赤色の文字で記し目立たせている。	○事故防止を意識して安全な観察・実験ができるよう、「禁止」「注意」マークを赤や黄で記して注意喚起している。	○計算する際の手立てとなるよう、必要な箇所に「算数・数学との関連」コーナーを設けている。
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○観察・実験内容を理解しやすくなるよう、基礎操作の文章を単語の途中で改行せずに文節で改行している。	○学習意欲を高められるよう、単元の始まりに、学習内容に関連する写真を見開きで掲載している。	○多様な考えや疑問に触れ、問題解決ができるよう、仮説設定や計画立案の場面に人物と吹き出しを用いて対話例を多く示している。	○基礎的・基本的な知識を身に付けられるよう、学習した重要語句を朱色の太字で示している。	○視覚的に理解しやすくなるよう、頁上部に大きな図や写真を多く集めて掲載している。
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○机上に広げて大きな写真やイラストを視覚的に理解しやすくなるよう、判型をA B版にしている。	○学習に無理なく取り組めるよう、大きさをB5判とし、持ち運びがしやすくなっている。	○デジタル教科書と同様に紙面を端末で活用できるよう、頁上隅にQRコードを付し、ウェブページに接続できる仕様になっている。	○文章を理解しやすくなるよう、脚注を減らし、対応する図表を近くに配置して判読性を高めている。	○学習したことを活用できるよう、巻末に切り離し可能な「探Qシート」を折り込みで設け、ノートやファイルに保存できる仕様になっている。
概要		生徒がつまづきやすい内容を理解する支援となるよう、デジタルコンテンツである「シミュレーション」を設定している。	生徒が身に付けた知識を実感できるよう、「やってみよう」のコーナーに目や火山の模型など、ものづくりに関するコラムを多く掲載している。	生徒が論理的に考え探究する力を身に付けられるよう、随所にコラム「理路整然」を掲載するとともに、学習意欲を高められるよう、青森市のねぶた祭や浅虫水族館など青森県に関連のある写真を多く掲載している。また、デジタル教科書と同様に紙面を端末で活用できるよう、頁上隅にQRコードを付し、ウェブページに接続できる仕様になっている。	生徒が習得した知識を活用して考え結論を導き出せるよう、消化器官の模式図を大きく掲載し、直接書き込める工夫をしている。	生徒が習得した知識を活用して自分の思考を表現できるよう、関連箇所近くに「Action活用してみよう」を掲載している。また、様々な視点から課題解決ができるよう、1つの課題に対して複数の検証方法を提示している。

種目[音楽(一般)]

	発行者名	17 教出	27 教芸			
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○学習の見通しを持てるよう、教科書冒頭に教材と学習の進め方を示した「学びMAP」を掲載している。 ○主体的・対話的で深い学びが展開できるよう、各学年に学び合うための活動例を示した「Active」のコーナーを掲載している。	○学習の見通しを持てるよう、教科書冒頭に教材と学習内容との関連等を示した「学びの地図」を掲載している。 ○主体的・対話的で深い学びが展開できるよう、各学年に学習の手順を示した「学びのコンパス」を掲載している。			
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○基礎的・基本的な知識や技能を幅広く身に付けられるよう、各学年に我が国及び諸外国のさまざまな音楽を掲載している。	○音楽の学習を通して社会とのつながりについて視野を広げて考えられるよう、各学年に「生活や社会の中の音や音楽」のコーナーを設けている。			
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じた工夫や配慮がなされているか。	○郷土の音楽文化に興味・関心を持って学習できるよう、青森県の「八戸三社大祭虎舞」「津軽じょんがら節」「津軽三味線」を紹介している。 ○学習意欲を高められるよう、巻頭に「With My Heart 音楽はメッセージ」を掲載している。	○郷土の音楽文化に興味・関心を持って学習できるよう、青森県の「津軽じょんがら節」や「えんぶり」を紹介している。 ○学習意欲を高められるよう、巻頭に各界で活躍する方から中学生へのメッセージを掲載している。			
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○学習したことを深められるよう、随所に、二次元コード「まなびリンク」を設定している。	○学習したことを深められるよう、各学年に「音楽の学びを振り返ろう」のコーナーを掲載している。			
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○思いや意図を持って創作の学習を進められるよう、創作の頁に活動の「手順」を示している。 ○多様な表現方法などの学び方を身に付けられるよう、適所に声や器楽を取り入れた活動の頁「Let's Try」を掲載している。	○学習したことの振り返りができるよう、巻末に「音楽を形づくっている要素」と関連する教材についてまとめて掲載している。 ○課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身に付けられるよう、各教材に「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」などを明示している。			
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○無理なく学習できるよう、各領域、分野をバランスよく配分し、巻末に各種資料を掲載している。	○無理なく学習できるよう、各領域、分野をバランスよく配分し、創作の学習では、作った音楽を再生できるデジタルコンテンツを設定している。			
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○SDGsを意識して学習することができるよう、教材の紙面にアイコンが示されている。	○音楽を形づくっている要素を視覚的に理解できるよう、巻末に絵図を使って掲載している。			
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○進んで問題を解決できるよう、適所にキャラクターの吹き出しで説明を補完している。	○課題意識を持って進んで学習に取り組めるよう、適所にキャラクターの吹き出しによる問いかけを配置している。			
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○鑑賞教材で演奏される様々な楽器について理解を深められるよう、巻末に写真を掲載した折り込み頁を設けている。	○写真やイラスト上の文字を読みやすいよう、背景が無地の部分に歌詞を配置している。			
概要		生徒が学習の見通しを持てるよう、教科書冒頭に教材と学習の進め方を示した「学びMAP」を掲載している。	生徒が無理なく学習できるよう、各領域、分野をバランスよく配分し、創作の学習では、作った音楽を再生できるデジタルコンテンツを設定している。また、音楽の学習を通して社会とのつながりについて視野を広げて考えられるよう、各学年に「生活や社会の中の音や音楽」のコーナーを設けている。			

種目〔音楽（器楽合奏）〕

	発行者名	17 教出	27 教芸			
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、各楽器の「演奏の仕方を身につけよう」に楽器の各部の名称、姿勢と構え方など、各楽器の特徴や奏法を掲載している。	○学習の見通しを持てるよう、教科書冒頭に器楽分野と創作分野の教材と学習内容との関連等を示した「学びの地図」を掲載している。			
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○学習意欲を高められるよう、巻頭に世界の様々な楽器を演奏している写真を紹介している。	○主体的・対話的で深い学びが展開できるよう、学習の手順を示した「学びのコンパス」を掲載している。			
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○我が国の郷土の音楽に興味・関心を持てるよう、和楽器の唱歌を唱える活動を掲載している。	○我が国の郷土の音楽に興味・関心を持てるよう、青森県の津軽三味線「津軽じょんから節」やお山参詣登山囃子を紹介している。			
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○進んで課題解決に取り組めるよう、楽器の奏法や音色を動画で確認できる「まなびリンク」を掲載している。 ○学習内容に親しめるよう、様々な国の曲を取り上げた「名曲旋律集」を掲載している。	○学んだことを生かして学習を深められるよう、器楽分野と創作分野の関連を図ったデジタルコンテンツを設定している。 ○学習内容に親しめるよう、様々なジャンルの名曲を取り上げた「楽器でMelody」を掲載している。			
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○既習を生かして意欲的に学習を進められるよう、段階的に難易度を上げた楽曲を掲載している。	○既習を活用して学習を深められるよう、基礎的・基本的な知識や技能を生かして段階的に難易度を上げた楽曲を掲載している。			
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○学習内容を深められるよう、管楽器、弦楽器、打楽器の学習をバランス良く配分している。	○学習に無理なく取り組めるよう、各領域、分野をバランスよく配分している。			
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○興味・関心に応じた課題を解決できるよう、和楽器の楽譜を縦譜、文化譜、五線譜で表記している。	○興味・関心に応じた課題を解決できるよう、和楽器の楽譜をカラーの縦譜、文化譜、五線譜で表記している。			
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○音楽的な見方・考え方を働かせて学習に取り組めるよう、各楽器の名手からのメッセージを掲載している。	○学習意欲が高まるよう、和楽器奏者からのメッセージや演奏風景の写真を掲載している。			
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○主体的に学習に取り組めるよう、巻末の折り込みの頁にリコーダーやギターのリコーダーの運指表を掲載している。	○主体的に課題を解決できるよう、リコーダーの運指表やギター、キーボードのコード表を見開きの頁に掲載している。			
概要		生徒が我が国の郷土の音楽に興味・関心を持てるよう、和楽器の唱歌を唱える活動を掲載している。	生徒が我が国の郷土の音楽に興味・関心を持てるよう、青森県の津軽三味線「津軽じょんから節」やお山参詣登山囃子を紹介している。また、学んだことを生かして学習を深められるよう、器楽分野と創作分野の関連を図ったデジタルコンテンツを設定している。			

種目[美術]

	発行者名	9 開隆堂	38 光村	116 日文		
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○表現と鑑賞を相互に関連させて学習できるよう、育みたい資質・能力の小見出しを付し、学習の流れを示している。 ○美術が社会の様々な場面と関わっていることがわかるよう、題材と関連した現代的な話題や社会的課題を掲載している。	○表現と鑑賞を一体的に学習ができるよう、学習の流れに沿った活動を「表現」、「鑑賞」の大きなアイコンで示している。 ○見通しを持って学習を進められるよう、学習の目標と授業の流れを掲載している。	○表現と鑑賞を相互に関連させて学習できるよう、「鑑賞の入り口」や「造形的な視点」、「学びの目標」を示している。 ○学習を通して夢や志を育めるよう、多方面で活躍する著名人のメッセージを掲載している。		
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○意欲的に学習に取り組めるよう、絵本やアニメ、漫画、現在活躍しているアーティストの作品を取り上げている。 ○主題を生み出す力が高まるよう、アイデアスケッチや吹き出しを付した活動の写真を掲載している。	○美術科での学びと他教科とのつながりを実感できるよう、他教科とのつながりを示すコラムが設けられている。 ○主題を生み出す力が高まるよう、発想や表現の方法について、作者の言葉や制作過程を掲載している。	○課題意識を持って学習に取り組めるよう、国際理解、環境保全、伝統と文化等の今日的な課題を題材として、取り上げている。 ○表現の題材において、主題を生み出す力が高まるよう、作者の言葉とともに、生徒や作家の多様な作品を掲載している。		
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○興味・関心を引き出せるよう、表紙に凹凸のある印刷を施し、作品の質感を想像できる工夫がされている。 ○学習意欲や興味・関心が高められるよう、本県出身作家の作品や地域の題材を取り上げている。	○興味・関心が高められるよう、和紙の質感の用紙を綴じ込んで配置している。 ○発達の段階に応じて学習を深められるよう、系統的に題材を配列している。	○意欲的に学習に取り組めるよう、多様な題材を掲載している。 ○発達の段階に応じて学習を深められるよう、「美術との出会い」、「実感と深まり」、「探求と未来」と系統的な資料を掲載している。		
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○学習内容の見通しを持てるよう、一つの題材を4頁で構成し、学習の流れが示されている。 ○小学校図画工作科で学習したことを生かせるよう、図画工作科との関連を1年生の巻頭に示している。	○基礎的・基本的な知識・技能が習得できるよう、別冊資料に多くの資料を掲載し、関連頁を示している。 ○美術の学びを人生や社会に生かすことができるよう、巻頭に谷川俊太郎「うつくしい!」を掲載している。	○題材での学びを次の活動に生かせるよう、分野毎に系統性のある配列になっている。 ○造形的な見方・考え方を働かせて学習できるよう、目標や内容を色やマークで簡明に示している。		
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○学習内容を深められるよう、QRコードを掲載し、導入や技法の動画、ワークシート等が活用できるようになっている。 ○主体的に学習内容を深められるよう、巻末に「学びの資料」を掲載している。	○技能や鑑賞などの学習内容を理解できるよう、別冊資料やQRコードに、多くの資料を掲載している。 ○学習したことを活用できるよう、身近な題材と社会的な題材を併せて掲載している。	○表現と鑑賞の知識・技能が高められるよう、QRコードを掲載し、技法の動画や資料等に工夫がみられる。 ○体験的に学ぶことができるよう、折り曲げて屏風として鑑賞できる見開きの頁や高精細印刷の頁を設定している。		
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○表現や鑑賞の知識・技能が高められるよう、題材が精選されている。	○表現や鑑賞の知識・技能が身に付くよう、各領域の題材をバランスよく配分している。	○表現と鑑賞がバランスよく学習できるよう、各題材の質・量のバランスに配慮している。		
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○学習内容を把握しやすいよう、頁上部に、各種コンテンツの内容、関連する題材の頁を示している。	○学習内容を理解できるよう、見出しやアイコンの配色を統一して表記している。	○学習内容を把握しやすいよう、題材毎の見出しや配色をわかりやすくしている。		
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○思考の幅が広がるよう、キャラクターに吹き出しを付し、思考のヒントを示している。 ○鑑賞の学習が深まるよう、実際の作品を実感できる原寸大や部分拡大、凹凸のある表紙で工夫して掲載している。	○学習のポイントが確認しやすくなるよう、「POINT」の吹き出しで表記している。 ○鑑賞の学習を深められるよう、鑑賞図版を大きく掲載している。	○課題解決の手がかりとなるよう、巻末に「学びを支える資料」を掲載している。 ○興味・関心が高められるよう、実際の作品を実感できる原寸大の鑑賞資料を掲載している。		
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○2年間使えるよう、2・3年の教科書が一冊にまとめられ、堅牢で、開きやすい造本になっている。 学習意欲や興味・関心が高められるよう、本県出身作家の作品や地域の題材を取り上げている。また、鑑賞の内容を深められるよう、表紙の印刷や図版に工夫がみられる。	○制作時に参照できるよう、別冊資料は綴じ方を工夫し、丈夫な造本としている。 見通しを持って学習を進められるよう、生徒の言葉や制作過程を掲載し、学習の流れを示している。	○制作時に参照できるよう、軽量で良質なコート紙を使用し強固に製本している。 学習を通して夢や志を育めるよう、多方面で活躍する著名人のメッセージを掲載している。造形的な見方・考え方を働かせて学習できるよう、目標や内容を色別やマークで簡明に示している。また、折り曲げて屏風として鑑賞できる頁を設定している。		
概要						

種目[保健体育]

	発行者名	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研	
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○見通しを持って学習を進められるよう、「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」等の場面設定を各項で統一されている。 ○思考力・判断力・表現力を高められるよう、日常生活と関連した資料を基に考えたり話し合ったりするための発問を設定している。	○基礎的・基本的な知識や技能が確実に身に付けられるよう、重要語句を各章の最後に掲載している。 ○思考力・判断力・表現力を高められるよう「話し合ってみよう」「やってみよう」「活用して深めよう」などの活動を設定している。	○基礎的・基本的な知識や技能を習得できるよう、見出しや資料を用いてわかりやすく解説している。 ○思考力・判断力・表現力を高められるよう、学習のまとめで考えを書いたり発表したりする場面を設定している。	○見通しを持って学習を進められるよう、「ウォームアップ」と題して、課題を発見する場を設定されている。 ○思考力・判断力・表現力を高められるよう、学習課題に「わかる」「考える」の視点を設定している。	
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○進んで問題解決に取り組めるよう、現代的な諸課題や健康との関わりについての資料やグラフを掲載している。 ○学習内容の定着が図られるよう、各章末にデジタルコンテンツの問題を掲載している。	○進んで問題解決に取り組めるよう、本文の裏付けや知識を深めるための資料を掲載している。 ○学習内容の定着が図られるよう、各章末にデジタルコンテンツのまとめの問題を掲載している。	○進んで問題解決に取り組めるよう、各章に実生活に関わるコラムや特集資料を掲載している。 ○学習内容の定着が図られるよう、各章末に観点別に振り返りと自己評価ができる問題を掲載している。	○進んで問題解決に取り組めるよう、活動場面の資料に保健の見方、考え方を示している。 ○学習内容の定着が図られるよう、各章末にまとめの問題を掲載している。	
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○学んだことを広げられるよう、口絵でSDGsやスポーツに関するテクノロジー、災害情報活用、巻末スキルチェックを写真や資料で掲載している。	○学んだことを広げられるよう、口絵の部分にスポーツへの関わり方やスポーツ選手のメッセージ、健康課題などを掲載している。	○学んだことを広げられるよう、口絵や特集資料等で様々なスポーツの関わり方や共生社会、ストレスについて紹介している。	○学んだことを広げられるよう、「探求しよう！」に、各項の内容に関わる「探究」を複数掲載している。	
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○学習したことを深められるよう、自分の考えを書いたり対話によって深めたりする、「活用する」の場面を設定している。 ○系統的な学習となるよう、各章の初めに単元の学習内容や小学校、高等学校での学習内容、関連する教科について掲載している。	○学習したことを深められるよう、家庭や地域における健康や安全について考える活動を設定している。 ○系統的な学習となるよう、各章の初めに単元での学習内容や小学校、高等学校での学習内容について掲載している。	○学習したことを深められるよう、各項に知識を広げる「ほり下げる」学習を設けている。 ○系統的な学習となるよう、各章の初めに単元での学習内容や小学校、高等学校での学習内容について掲載している。	○学習したことを深められるよう、章の初めや各項目に関連するデジタルコンテンツを設けている。 ○系統的な学習となるよう、各章の初めに単元での学習内容や小学校、高等学校での学習内容について掲載している。	
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○意欲的に学習に取り組めるよう、小学校の既習事項や日常生活を基にした学習課題を設定している。 ○身に付けた知識や技能を活用できるよう、関連した内容を閲覧したり、疑似体験したりできるQRコードを豊富に掲載している。	○意欲的に学習に取り組めるよう、学習内容と関連が深い「トピックス」や「ミニ知識」を設けている。 ○身に付けた知識を活用できるよう、章末資料から記述によって、学習内容を振り返ったり、考えを深めたりする欄を設けている。	○意欲的に学習に取り組めるよう、「課題をつかむ」では、多様な導入活動を提示している。 ○身に付けた知識を活用できるよう、特集資料に様々な実生活での健康安全に関する事例を掲載している。	○意欲的に学習に取り組めるよう、冒頭や各章の初めに学ぶ意欲を高める資料や情報を掲載している。 ○身に付けた知識を活用できるよう、日常生活の課題に対応するための「学びを生かす」場面を設けている。	
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○学習に無理なく取り組めるよう、1単位時間見開き1頁を基本としている。 ○今日的な課題に対応できるよう、心の健康や共生社会の実現に向けた内容を掲載している。	○学習に無理なく取り組めるよう、1単位時間見開き1頁を基本としている。 ○心肺蘇生法の実習の際に、手順を確認しやすいよう、折り込み頁を採用して内容を掲載している。	○学習に無理なく取り組めるよう、全ての項目を1単位時間見開き1頁としている。 ○今日的な課題に対応できるよう、性の多様性を重視した題材を掲載している。	○学習に無理なく取り組めるよう、1単位時間見開き1頁を基本としている。 ○応急手当の実習を正確に行えるよう、複数頁にわたり内容を詳しく掲載している。	
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○多様な生徒の学びを保障するよう、教育漢字以外の常用漢字には全て振り仮名を付けている。	○読みやすく理解しやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮し、UDフォントを使用している。	○多様な生徒の学びを保障するよう、太字やキーワードには全て振り仮名を付けている。	○読みやすく理解しやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮し、UDフォントを使用している。	
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○学習内容を理解できるよう、挿絵の吹き出しを用いて的確に学習のポイントを表現している。	○学習内容を理解できるよう、イラストが親しみやすいものになっている。	○学習内容を理解できるよう、「クイズ形式」の問題で学習内容を振り返ることができるようになっている。	○学習内容を理解できるよう、キャラクターの吹き出しで、学習内容を解説している。	
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○3年間使用できるよう、十分耐える軽量で堅牢な用紙を用い、丈夫で長持ちする綴じ方で製本されている。	○3年間使用できるよう、表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工されており、あじろ綴じで製本されている。	○3年間使用できるよう、軽量で十分耐える用紙を使用し、あじろ綴じが採用されている。	○3年間使用できるよう、あじろ綴じの特殊加工を施しており、堅牢に製本されている。	
概要		健康保持増進のための実践力を育成するために、様々な健康課題の解決とスポーツへの関わり方についての資料が多数掲載されており、それらを活用し、よりよい解決に向けて思考する場面が設定されている。	知識の定着を図るために、ウェブサイトにて定着問題を掲載している。	思考力・判断力・表現力を高められるよう、「学習のまとめ」で考えを書いたり仲間に伝えたりする場や知識を活用する場を設定している。	学んだことを深め、活用できるよう、高校への接続を視野に入れた「探究」を複数掲載している。	

種目[技術・家庭（技術分野）]

	発行者名	2 東書	6 教図	9 開隆堂		
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○技術の見方・考え方を働かせて学習に取り組めるよう、巻頭に各題材で活用できる「最適化の窓」「技術のめがね」を掲載している。	○学習への意欲・関心が高まるよう、各題材の冒頭の項目では、生活の中にある技術の具体例を取り上げている。	○技術の見方・考え方を働かせて学習に取り組めるよう、ガイダンスや各題材では、現在活用されている技術や学習成果を評価する活動を意図的に取り上げている。		
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○主体的に学習に取り組めるよう、各題材では多彩なテーマで問題解決の例を取り上げている。	○自ら計画を立て、主体的に学習に取り組めるよう、巻末に各内容の「設計・計画」シートを付している。	○情報活用能力を高められるよう、デジタル・シティズンシップに関わる記載が巻頭のガイダンスに特設頁として設定されている。		
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○技術分野の学習への興味・関心が高まるよう、随所に最前線で活躍する「技術の匠」を紹介している。 ○基礎的・基本的な知識や技能を身につけられるよう、各題材に関連する製作の基礎技能、科学的な原理・法則をまとめて掲載している。	○基礎的・基本的な知識や技能を身に付けられるよう、「プチ問題解決にチャレンジ!」の項目を設定している。 ○技術分野の学習への興味・関心が高まるよう、随所に各地域の技術や技術者を「スゴ技」「技ビト」のコラムで紹介している。	○学習を通して夢や志を育めるよう、各題材の終末に、技術者のインタビューが掲載されている。 ○技術分野の学習への興味・関心が高まるよう、巻頭に技術の発展によりアニメの世界が実現している例を紹介している。		
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○小学校や他教科での学びを関連させて学べるよう、付されたQRコードから関連する教科書の誌面を閲覧できるようにしている。 ○技術分野の各題材を関連づけて学べるよう、ガイダンスで例示したイラストを各章の扉絵にも使用している。	○主体的に作業に取り組めるよう、作業手順について作業工程毎に写真を多く掲載している。 ○技術分野の学習への興味・関心が高まるよう、技術関係の専門高等学校で学ぶ高校生などからのメッセージを掲載している。	○科学的な根拠をもとに、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けられるよう、随所に「実験」や「調べ学習」を取り上げている。 ○小学校や他教科での学びを関連させて学べるよう、各題材の冒頭や関連箇所にマークを付している。		
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○見通しを持って問題解決に取り組めるよう、紙面に問題解決の流れと共に段階を明確に図示している。 ○協働的に課題解決ができるよう、随所に思考ツールを活用した考える手立てが例示されている。	○見通しを持って問題解決に取り組めるよう、問題の発見から振り返りまでをマンガで示している。 ○安全に実習に取り組めるよう、各題材の実習の導入では、安全指導の頁を設けている。	○見通しを持って問題解決に取り組めるよう、問題解決の流れを実習例の下部に掲載している。 ○習熟や技能の程度に合わせて主体的に学習に取り組めるよう、全般にわたってQRコードを付している。		
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○情報を適切に活用できるよう、情報モラルの内容では、身近なトラブルの例を仕組みと共に多数、掲載している。	○プログラミングの学習に習熟や技能の程度に合わせて取り組めるよう、複数のプログラミング言語を掲載している。	○プログラミングの学習に意欲的に取り組めるよう、多様な双方向性のプログラミングコンテンツの実習例を取り上げている。		
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○読みやすいよう、小学校で学習していない漢字にはふり仮名を付している。	○基礎的・基本的な知識を身に付けられるよう、重要語句の書体と色を変えて記載している。	○見やすく、読みやすいよう、単語が途中で改行されないように工夫している。		
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○学習課題を明確に捉えられるよう、文字のフォントを変え、疑問形にして提示している。	○実生活の課題として捉えられるよう、生徒のイラストに吹き出しを付し、対話形式で示している。	○基礎的・基本的な技能が身に付けられるよう、随所に、背景色を変えて「作業ポイント」を記載している。		
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○頁を検索しやすいよう、内容や関連する基礎技能などのインデックスを題材別に色分けしている。	○主体的に学習に取り組めるよう、技能をまとめた「スキルアシスト」にまとめている。	○見通しを持って学習に取り組めるよう、実習例などの項目では、見開き頁を取り入れている。		
概要		基礎的・基本的な知識や技能を身に付けられるよう、各内容に関連する製作の基礎技能、科学的な原理・法則をまとめて掲載している。また、情報を主体的に活用することができるよう、情報モラルの内容では、身近なトラブルの例を仕組みと共に多数、掲載している。	主体的に作業に取り組めるよう、作業手順について作業工程毎に写真を多く掲載している。	技術の見方・考え方を働かせて学習に取り組めるよう、ガイダンスや各題材では、現在活用されている技術や学習成果を評価する活動を意図的に取り上げている。また、プログラミング学習の実習例を多数掲載しており、各題材のまとめでは、夢や志が育まれるよう、技術者のインタビューが掲載されている。		

種目[技術・家庭（家庭分野）]

	発行者名	2 東書	6 教図	9 開隆堂		
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○意欲的に学習を進められるよう、各節の上部に、「レッツスタート」や「学習課題」のコーナーを設けている。 ○考えたことを対話につなげられるよう、導入や展開の段階に、思考ツールを活用した事例を掲載している。	○身近なことから生活を振り返えられるよう、学習タイトルの横に、イラストや写真を用いた「見つめる」のコーナーを設けている。 ○学習したことを振り返り生活を改善できるよう、章末に、自分の課題に取り組む「学びを生かそう」の頁を見開きで設定している。	○生活の中で考え、実践できるよう、随所に、「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」のコーナーを設けている。 ○自分の考えをまとめ、表現する力を高められるよう、学習のまとめごとに、「学習のまとめ」の頁を設定している。		
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○進んで問題を解決できるよう、各編扉の頁に、登場するキャラクターが課題につながるヒントを示している。 ○調理による食品の変化が捉えやすいよう、実習例の頁に、大きな写真を掲載し、見開きで手順を示している。	○学び方を身に付けられるよう、全体を通して、「見つめる」「見つめてみよう」「学ぶ」「ふり返る」の4ステップで構成している。 ○実感を持って学習に取り組めるよう、随所に、人物の表情の写真や実物大の食材写真を掲載している。	○自分事として学習を進められるよう、全体を通して、案内役の中学生や学習を補助するキャラクターを登場させている。 ○見通しを持って学習を進められるよう、巻頭にガイダンスの頁を掲載している。		
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○無理なく製作活動に取り組めるよう、実習例の中に、製作の難易度に合わせて選択できる実習例を掲載している。 ○基礎的・基本的な技能が身に付けられるよう、実習の単元の後に、学習の振り返りができる「いつも確かめよう」の頁を設定している。	○完成後の目的を考えながら製作活動に取り組めるよう、目的別に選択できる布を用いた教材を複数掲載している。 ○学びを深め将来の生き方を考えられるよう、随所に、身近な職業に就く先輩のインタビューを大きく掲載している。	○理論的によりよい調理方法を考えられるよう、調理実習例の下部に、「調理方法Q&A」コーナーを設けている。 ○基礎的・基本的な知識や技能を身に付けられるよう、実習単元の初めに、製作の基礎・基本に関する知識や技能を紹介する頁を設けている。		
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○既習内容や他教科との関連を意識して学習を進められるよう、関連する内容に、「小学校マーク」や「他教科マーク」「防災マーク」等を付している。 ○学んだことを深められるよう、該当する内容に、普段の生活に生かせる具体的な場面を示している。	○関連する他教科や重要なテーマを意識しながら学習を進められるよう、随所に、関連する個別のマークを付している。 ○学びと暮らしを結びつけながら取り組めるよう、導入段階やガイダンスで、身近で具体的なテーマや人物を取り上げている。	○学んだことを活用できるよう、該当する内容に、関連する分野や教科を示すマークを記載している。 ○学んだことを深められるよう、体験学習の頁に、科学的な根拠を示したイラストを掲載している。		
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○課題意識を高められるよう、折込み頁等に、実物大の食品等の写真を掲載している。 ○進んで問題解決に取り組めるよう、各頁の上部に、動画やシュミレーションにつながるQRコードを付している。	○自分の成長を意識しながら学習を進められるよう、章の導入頁に、自分の生活を確認する「自立度チェック」のコーナーを設けている。 ○学習後の自己評価がスムーズにできるよう、章末に、記述式他、3段階評価できる欄を設定している。	○興味・関心を持ちながら調理実習ができるよう、調理実習頁に、手順の写真を横並びに掲載している。 ○自分の生活を振り返り課題に気付けるよう、導入段階に、自分の生活と結び付けた課題をキャラクターからの問いの形で示している。		
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○学習目標を意識できるよう、ガイダンスの頁に、1年生の時点と3年後の自分の生活を比較できるチェック欄を設けている。	○高齢者や幼児との触れ合い実習に無理なく取り組めるよう、該当する箇所に、実習が難しい場合の参考例や代替え例を紹介している。	○進んで問題解決に取り組めるよう、防災関連の単元に、具体的な事例の写真やハザードマップなどを紹介する「私たちの防災」の頁を掲載している。		
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○情報が伝わりやすいよう、本文は敬体を用い、簡潔明瞭に表現している。	○情報が伝わりやすいよう、ユニバーサルデザインのフォントやカラーユニバーサルデザインを採用している。	○情報が伝わりやすいよう、ユニバーサルデザインフォントの書体を採用している。		
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○学習内容を理解できるよう、中学校以降で学習する常用漢字全てにふりがなを付している。	○学習内容が理解できるよう、常用漢字を使用し、中学校の配当漢字にはふりがなを付している。	○作業手順が理解できるよう、実習・製作例の頁を、横流れに統一して表記している。		
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○長期的に使用できるよう、軽量の紙を使用し、身体的負担に配慮している。	○3年間の使用に耐えられるよう、表紙を防水加工し、汚れにくく丈夫さが長持ちするようにしている。	○長期的な使用ができるよう、水に強い加工を施している。		
概要		生徒が、基礎的・基本的な技能が身に付けられるよう、学習の振り返りができる「いつも確かめよう」の頁を設定するとともに、折込み頁に実物大の食品等の写真を掲載して、課題意識を高められるよう工夫している。	生徒が、身近なことから生活を振り返られるよう、イラストや写真を用いた「見つめる」のコーナーを設けるなど工夫している。	生徒が、生活の中で考え、実践できるよう、「やってみよう」「考えてみよう」等のコーナーを設けるとともに、「調理方法Q&A」コーナーや科学的な根拠を示したイラストを掲載して、学びを深められるように工夫している。		

種目[英語その1]

	発行者名	2 東書	9 開隆堂	15 三省堂	17 教出	38 光村
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○身に付けた知識を生かせるよう、単元末に目的・場面・状況を意識した活動が設定されている。 ○意欲的に学習に取り組めるよう単元のまとまりを意識した学習の流れになっている。	○思考力、判断力、表現力が高められるよう、本文読了後に再話する活動を設定している。 ○基礎的・基本的な事項が身に付くよう、単元前半で知識・技能を習得・活用する構成になっている。	○意欲的に学習に取り組めるよう、各課の始めに即興的にやり取りをする活動を設けている。 ○思考力・判断力・表現力を高められるよう、単元末に4技能を総合的に活用する場面が設定されている。	○既習表現を使ったやりとりができるよう、基本となる表現や活動が複数単元の学習後に記載されている。 ○思考力、判断力、表現力を育むよう、「Think & Try」を設け、自己表現の場を設定している。	○既習表現を使ったやりとりができるよう、学んだことを生かした言語活動が設けられている。 ○思考力、判断力、表現力を育むよう、「UnitのGoal」に登場人物になりきって発信する活動を設けている。
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○国際理解が深まるよう、「Stage Activity」では、相手意識を持った活動を例示している。 ○実生活に即した英語力を身に付けられるよう、「Real Life English」を設けている。	○国際社会に寄与する意識を育てるよう、自国の伝統や文化、他国の文化を取り上げている。 ○多様なものの見方や考え方を身に付けられるよう、現代的課題を扱っている。	○国際理解が深まるよう、他国の生活や文化と自国の伝統や文化を題材で扱っている。 ○段階的に視野を広げられるよう、身近な話題から将来につながる題材を設定している。	○教科横断的な学びができるよう、各学年に他教科と関連のある題材を設定している。 ○多様性への理解が深まるよう、様々な背景を持った人物を登場させている。	○国際理解が深まるよう、世界で活躍する生徒と同年代の人物を紹介する「World Tour」が設けられている。 ○持続可能な社会について自ら考え行動できるよう、SDGsや他教科に関する題材が設けられている。
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○小学校の言語材料や単語を振り返られるよう、音と文字の関係を扱った頁を掲載している。 ○SDGsを自分事として考え実行できるよう、SDGsに関する題材を掲載している。	○学習内容に親しめるよう、導入部分で、2コママンガ形式の対話場面を設けている。 ○進んで問題解決に取り組む、主体的な学びを促すよう、各単元に「Tuning in」を配当している。	○学習内容に親しめるよう、単元を通して1つのストーリーを展開している。 ○基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、単元目標に向かって段階的な活動を設定している。	○小学校での学びを生かせるよう、既習単語を新出単語と区別して掲載している。 ○興味・関心を持って長文読解ができるよう、読み物教材の内容を工夫している。	○小学校の言語材料や単語を振り返られるよう、既習事項を扱った導入教材を掲載している。 ○意欲的に学習に取り組めるよう、外国の中学生やその文化などについての映像が収録されている。
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○意欲的に問題を解決できるよう、単元を貫く問いを冒頭に設定している。 ○学習したことに繰り返し関われるよう、スパイラルに学習できる構成になっている。	○小学校の学びを生かせるよう、1年時に「Get Ready」の活動が設定されている。 ○意欲的に学習に取り組めるよう、登場人物と題材の配置を統一し、教科書全体に一貫性を持たせている。	○学びの接続が円滑となるよう、小学校の既習事項を振り返るための導入教材を設けている。 ○学習したことを深められるよう、言語活動の終わりに取組を振り返る場を設けている。	○意欲的に学習に取り組めるよう、1年生初めの2単元は本文を漫画のレイアウトにしている。 ○身に付けた知識・技能を活用できるよう、4技能統合型の活動を各単元に設定している。	○学びの接続が円滑となるよう、1年生の初めの3単元は物語を楽しみながら進めるような配慮をしている。 ○見通しを持って学習に取り組めるよう、学習した内容を自己表現に生かすためのヒントが掲載されている。
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○学習の見通しを持てるよう、単元全体の学びの構成を3年間通して一貫させている。 ○表現力を高められるよう、巻末に既習事項を使って即興でやり取りするトピックを掲載している。	○学習意欲が高められるよう、学期末の目標を明確にした「Our Project」を設定している。 ○学習内容に興味・関心が持てるよう、実生活に即した場面設定を行っている。	○学習の見通しを持てるよう、単元末の目標を目次と単元の初めの頁に掲載し、単元末に自己評価をする段階的に学ぶ構成になっている。 ○学習内容を理解できるよう、見開き構成で、教材の配列をパターン化している。	○基礎的・基本的な事項を身に付けられるよう、学んだ言語材料を単元末にまとめて掲載している。 ○学習内容に親しめるよう、小単元の初めは対話文、最後はまとめた英文を掲載している。	○学習の見通しを持てるよう、各Unitが単元の目標に向かって学習が進められる配列になっている。 ○学習したことを深められるよう、ICTを活用した協働学習が設定されている。
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○学習したことを深められるよう、単元内で4技能を活用する活動が設けられている。 ○学習に無理なく取り組めるよう、英文の量や活動の種類を段階的に充実させている。	○学習したことを深められるよう、言語活動が4技能5領域を統合的に活用できる配置になっている。 ○学習に無理なく取り組めるよう、言語材料が精選され、易から難へ段階的に進む配列となっている。	○身に付けた知識を活用できるよう、各単元に言語材料と言語活動がバランスよく配置されている。 ○興味・関心を持って長文読解ができるよう、大単元末に説明文・物語文をバランスよく配置している。	○表現力を高められるよう、4技能を効果的に活用するポイントを各単元に掲載している。 ○学んだことを活用できるよう、複数単元ごとに「Project」を設定している。	○学習内容を理解できるよう、見開き構成で活動の構成を統一している。 ○学習に無理なく取り組めるよう、各学年とも8単元で構成されている。
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○「読む・書く」学習に抵抗なく取り組めるよう、1年生では、小学校用教科書と同じ書体を使っている。 ○全ての生徒が学習に取り組めるよう、紙面上のデザインや配置を統一している。	○「読む・書く」学習に抵抗なく取り組めるよう、英語表記では発達段階に応じた書体を使用している。 ○全ての生徒が学習に取り組めるよう、日本語の表記ではユニバーサルデザイン書体を使用している。	○「読む・書く」学習に抵抗なく取り組めるよう、1年生の導入期は、手書き文字フォントを使用している。 ○全ての生徒が学習に取り組めるよう、可読性や視認性に配慮した見やすい紙面になっている。	○「読む・書く」学習に抵抗なく取り組めるよう、1年生ではフォントを3段階に分けて移行している。 ○全ての生徒が学習に取り組めるよう、紙面構成や色使いに統一性を持たせている。	○「読む・書く」学習に抵抗なく取り組めるよう、発達の段階に応じて、フォントを変えている。 ○全ての生徒が学習に取り組めるよう、色や図形でポイントを判別できる工夫をしている。
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○学習の理解が深まるよう、巻末に日本語との違いを意識させる語順カードを掲載している。 ○進んで問題解決に取り組めるよう、巻末に興味・関心を引きつける語彙集や資料を掲載している。	○学習の理解が深まるよう、学習や活動をサポートするガイドキャラクターを掲載している。 ○学習内容を理解できるよう、本文の傍注に題材に関する補足情報を掲載している。	○学習の理解が深まるよう、聞き取りや音読のコツ、英語の学び方を学ぶ頁を設けている。 ○進んで問題解決に取り組めるよう、会話や話の内容を深めたりするコツを掲載している。	○学習の理解が深まるよう、オリジナルキャラクターが解法の手がかりを与える工夫がされている。 ○進んで問題解決に取り組めるよう、巻末に分野別用語集や、やり取りの例を掲載している。	○学習の理解が深まるよう、学習の流れを単元のはじめの頁に記載し、レイアウトになっている。 ○進んで問題解決に取り組めるよう、巻末に「英語の学び方ガイド」や思考ツールが掲載されている。
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○資料が見やすいよう、A4判を採用し、手書きができるスペースを設けている。	○資料が見やすいよう、色使いや文字の大きさに配慮している。	○学習内容が一目でわかるよう、A4判にしている。	○資料が見やすいよう、個人差を問わないカラーユニバーサルデザインによる配色で構成されている。	○資料が見やすいよう、視覚的に大きく見せることができるAB版を採用している。
概要	<p>コミュニケーションを図る資質・能力を育成するよう、単元を貫く問いを冒頭に掲載し、単元の学習を積み重ねることで問いに答えることができるように工夫している。</p> <p>コミュニケーションを図る資質・能力を育成するよう、導入部分で、2コママンガ形式の対話場面を掲載することで学習する言語材料が使用される目的・場面・状況がわかるように工夫している。</p> <p>コミュニケーションを図る資質・能力を育成するよう、単元末の目標を目次と単元の初めの頁に掲載し、単元末に自己評価をする段階的に学ぶ構成になっている。また、長文読解ができるよう、説明文・物語文をバランスよく配置している。</p> <p>コミュニケーションを図る資質・能力を育成するよう、身に付けた知識・技能を活用した4技能統合型の活動を各単元に設定している。</p> <p>コミュニケーションを図る資質・能力を育成するよう、「英語の学び方ガイド」や思考ツールが掲載されている。</p>					

種目[英語その2]

	発行者名	61 啓林館					
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○学習の意欲を高められるよう、各単元の最初に目標設定、最後に自己評価をする場が設けられている。 ○即興的にやり取りできる力を身に付けられるよう、小单元ごとに「Enjoy Chatting」を設定している。					
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○夢や志を英語で語ることができるよう、各学年に将来のことを考える活動を設けている。 ○持続可能な社会の実現に向けて、何をすべきか考えられるよう、SDGsに関する題材が設けられている。					
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○自分の視野を広げ、深い学びができるよう、日常的な話題から社会的な話題まで多様な題材を扱っている。 ○郷土に対する興味・関心を持って学習できるよう、青森ねぶた祭りを取り上げている。					
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○小学校の学びが生かされるよう、1年生では慣れ親しんだ表現を整理できる内容になっている。 ○学習したことを深められるよう、単元ごとの題材を統一し、一貫性を持たせている。					
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○知識・技能を身に付けられるよう、スモールステップによる学習場面が設定されている。 ○学習の見通しを持てるよう、インプットとアウトプットの目標を単元の初めに記載している。					
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○思考力、判断力、表現力を育むよう、単元の終わりに領域を統合した言語活動を設けている。 ○学習したことを活用できるよう、複数単元ごとに技能統合型の「Project」が設けられている。					
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○「読む・書く」学習に抵抗なく無理なく取り組めるよう、1学年ではUDフォントを使用している。 ○安心して学習に取り組めるよう、紙面上のデザインや配置を統一している。					
	(2) 児童生徒が理解しやすい適切な表現になっているか。	○単元の理解が深まるよう、巻末にリスニング台本を掲載している。 ○進んで問題解決に取り組めるよう、文構造や文法を詳細に解説したFocus on Formが設けられている。					
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○資料が見やすいよう、余白部分や行間に配慮している。					
概要	コミュニケーションを図る資質・能力を育成するよう、小单元ごとに「Enjoy Chatting」を設定し即興的なやり取りの場面を設定している。また、思考力・判断力・表現力を高められるよう、単元末に領域を統合した自己表現活動を設けている。						

種目[道徳その1]

	発行者名	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○心情の変容を視覚的に捉えながら考え、議論できるよう、巻末に「心情円」を付している。 ○道徳的価値について深く考えられるよう、各教材の最後に思いを記入できる「つぶやき」欄が設定されている。	○学習テーマを共有することができるよう、導入に道徳的価値を意識付ける発問を設定している。 ○教材の価値項目について考え、議論する材料にできるよう、全ての教材に教材解説のQRコードを付している。	○見通しを持って学習に取り組めるよう、巻頭に内容項目を明示するとともに、「道徳道案内」の頁を掲載している。 ○思考を整理することができるよう、巻末に思考ツールを掲載している。	○将来に夢や希望を持てるよう、教材の登場人物から生徒に語りかける「あすへのメッセージ」を掲載している。 ○自分の考えや議論した結果を記録し、変容を確認したり振り返りをしたりできるよう、別冊で道徳ノートを準備している。	○考えを深め、議論して道徳的価値に迫ることができるよう、教材末に「深めよう」を設定している。 ○学びの記録を蓄積し、振り返ることができるよう、巻末に学期ごと、教材ごとの書き込みワークシートを付している。
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○「いじめ」について多面的・多角的に考えることができるよう、2年生の教材に、イラストが印象的な「私のせいじゃない」を取り上げている。	○道徳的価値に段階的に迫ることができるよう、教材末に3つの発問(学びのみちしるべ)を設定している。	○題材について興味・関心を高め、意欲的に授業に取り組めるよう、各学年で漫画教材を多く取り入れている。	○3年間を通して道徳的实践力を身に付けられるよう、生徒の発達段階に応じて、ボランティアに関する教材を段階的に多く設定している。	○情報モラルについて学びを深め、意識を高めて学習に取り組めるよう、題材名にマークを付けて目立たせる工夫をしている。
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○心情円を活用して授業を進めることができるよう、葛藤場面のある教材の題名下に活用のマークを付している。	○命について多面的に考えられるよう、3年生で青森県動物愛護センターでの出来事を題材として取り上げている。	○地域の文化や人材に興味を持つことができるよう、地域の問題を題材として取り上げている。	○夢をもち、諦めずに取り組む姿勢を身に付けることができるよう、県内出身者を題材として取り上げている。	○地域への関心を高めながら学習できるよう、2・3年生それぞれで青森県出身の人物について取り上げている。
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○「いじめ防止」と「いのち」について重点的に学ぶことができるよう、全学年でユニットを構成している。	○人との関りについて、小学校の学びを継続できるよう、1年生の最初に友情と人間関係について触れる教材を設定している。	○小学校と中学校の学びをつなげられるよう、1年生の巻末に小学校6年間の学習で心に残ったことを記す頁を設けている。	○諸活動や自主学習でも道徳的価値について考えられるよう、コラム「視野を広げて」を各学年に7つずつ配置している。	○3年間を通して未来に向かう姿勢を身に付けられるよう、全学年で系統的にユニット学習を位置付けている。
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○3年間を通して学びを深めることができるよう、同一の登場人物が3年かけて友情を育む題材を掲載している。 ○学期末に学びを振り返ることができるよう、巻末に3枚のワークシートを付している。	○学習の見通しを持つことができるよう、各教材のタイトルの下に問いを記載している。 ○よりよく生きることについて深く考えられるよう、巻末に考えをまとめる頁を付している。	○「人権」に対する理解を深めることができるよう、全ての学年に考えを深めるユニットを設定している。 ○学びを記録し、振り返ることができるよう、巻末に折込みの記録シートを付している。	○夢を持って中学校生活をスタートできるよう、1年生の最初に夢の実現を応援する教材を配置している。 ○1年間前向きに授業に取り組めるよう、表紙裏にインパクトのある空のイラストを掲載している。	○授業を通して考えを深められるよう、巻頭で「考えを深めるための4つのステップ」を紹介している。 ○命について深く考えられるよう、各学年それぞれに教材を設定し、かつ、いじめ防止教材とも関連させている。
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○「いじめ」について深く考え自分事として捉えられるよう、全ての学年で、漫画教材を取り入れている。	○文量の多い教材にも粘り強く取り組めるよう、写真やイラストを多く掲載している。	○発達段階に応じて学習できるよう、各学年で文章量や話題、世界への広がりによって軽重をつけている。	○50分の授業で話合いや別冊ノートへの記入に十分時間を確保できるよう、文章量が適切に調整されている。	○「いのち」について重点的に、継続して考えられるよう、年間を通して教材を配列している。
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○内容を捉えやすくするよう、視認性の高いユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○教材理解が円滑に進むよう、小学校で学習する漢字以外の全ての漢字にふりがなを付している。	○言葉のまとまりを捉えられるよう、発問やキャラクターのセリフは改行位置に配慮している。 ○教材内容の理解につながるよう、本文には視認性・可読性が高いユニバーサルデザインフォントを使用している。	○問われていることの意味をつかみやすいよう、手引きの問いは意味のまとまりで改行している。 ○内容把握と自分と向き合う時間を区別できるよう、教材末の問いを横書きで標記している。	○全ての生徒が読みやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを用い、文字の大きさ、罫線や囲みの使い方、色遣いを工夫している。 ○小さなふりがなでも読み取りやすいよう、ゴシック体を採用している。	○登場人物の心情に思いをはせることができるよう、題名の下にインパクトのある1文を記載している。 ○生徒の読解に時間がかからないよう、中学校に配当されている漢字にはふりがなを付けている。
	(2) 児童が理解しやすい適切な表現になっているか。	○楽しみながら道徳の授業を進められるよう、随所で親しみやすいキャラクターが説明や問いをしている。	○道徳的価値について深く考えられるよう、巻頭と巻末にキャラクターを用いて、話合いや思考の観点を示している。	○道徳的価値の理解につながるよう、親しみのあるキャラクターが価値項目にせまるヒントを示している。	○道徳的価値に親しみを持って迫れるよう、1年生の教材に、人気漫画「ハイキュー」を取り上げている。	○抵抗なく学習に取り組めるよう、内容理解を助ける写真やイラストを多く掲載している。
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○SDGsに対する理解を深めることができるよう、巻末付録に関連する教材を掲載している。 ○教材の読み取りが困難な生徒や外国につながる生徒も内容を理解できるよう、全教材に朗読機能付きのQRコードを付している。	○学期末、学年末の学びを振り返ることができるよう、巻末にワークシートを付している。 ○授業で活発に話合いができるよう、巻頭にオリエンテーションの頁を設定している。	○小学校で学んだことやこれから学びたいこと、各時間の記録や1年間の学びを通して成長したことを記録できるよう、巻末に折込みのワークシートを付している。 ○生徒の学びを助けられるよう、教材名の右上にテーマを示している。	○文章の途中で頁をめくることにならないよう、教材のレイアウトを調整している。 ○規則的でわかりやすい教科書になるよう、全ての教材を右頁始まりの見開き構成にしている。	○学びの記録を書きやすいよう、巻末のワークシートは記入しやすい紙質を選択している。 ○視覚情報を利用しやすいよう、AB判型を採用している。
概要		生徒が心情の変容を視覚的に捉えながら考え、議論できるよう、巻末に「心情円」を付している。	生徒が道徳的価値について深く考えられるよう、巻頭と巻末で、キャラクターを用いて話合いや思考の観点を示している。	生徒が地域の文化や人材に興味を持つことができるよう、地域の問題を題材として取り上げている。	生徒が考えや議論した結果を記録し、変容を確認したり振り返りをしたりできるよう、別冊で道徳ノートを準備している。また、3年間を通して道徳的实践力を育められるよう、生徒の発達段階に応じて、ボランティアに関する教材を段階的に多く設定したり、夢を持って中学校生活をスタートできるよう、1年生の最初に夢の実現を応援する教材を配置している。	生徒が題名から内容を推測できるよう、題名の下にインパクトのある1文を記載している。

種目[道徳その2]

	発行者名	232 あか図	233 日科		
1 内容・程度	(1) 学習指導要領の趣旨を生かす工夫や配慮がなされているか。	○学びを広げ、考えを深められるよう、適所に補助教材「Thinking」を掲載している。 ○家庭で話題にし、家族と対話を深められるよう、一般書籍や新聞記事の実話やエッセイを教材として取り上げている。	○人間としてどう生きるかを探求することができるよう、哲学的視点を与える教材を各学年に1つずつ設定している。 ○自身を振り返って考えることが容易にできるよう、各教材に「考えよう」「深めよう」の2つの発問が設定されている。		
	(2) 内容の選択や精選は適切であり、全体の調和がとられているか。	○活動を通して道徳的価値を理解することができるよう、体験的な学習をバランスよく示している。	○青森県の良さに触れ、理解を深められるよう、鶴の舞橋や北金ヶ沢のイチョウの写真を掲載したり、題材に白神山地を取り上げたりしている。		
	(3) 地域の実態や児童生徒の興味・関心、発達の段階に応じる工夫や配慮がなされているか。	○発達段階に応じた道徳的価値を身に付けられるよう、「共に生きる」をテーマとした題材を2・3年生で3つ設定している。	○ボランティア活動について理解を深められるよう、ボランティアに関するアンケート結果や4コマ漫画を掲載している。		
2 組織・配列・分量	(1) 各内容相互の関連性に配慮し、系統的、発展的に組織されているか。	○生命の大切さと命の尊さについて深く考えることができるよう、関連教材を各学年に系統的に掲載している。	○年間指導計画や生徒の実態に沿って流動的に教材を配置できるよう、学習指導要領の内容項目順に配置している。		
	(2) 効果的に授業が展開できるよう配列されているか。	○役割演技で多角的に価値項目について考えられるよう、各学年に「マイ・プラス」を設定している。 ○学びを蓄積し振り返られるよう、巻末に学期末、年度末のまとめを記入するワークシートを付している。	○各教材で自分の思いを仲間と語り合えるよう、巻末にウェルビーイングカードを付している。 ○登場人物の思いを自分事として捉え、考えを深められるよう、吹き出しを空白にして書き込むことができるようにしている。		
	(3) 各分野、領域等の分量及び配分は適切であるか。	○生命尊重といじめ防止について理解を深められるよう、重点項目4つを全学年で3時間ずつ担当している。	○発達段階に応じて生徒の学びが深まるよう、各学年に課題となる内容を取り上げている。		
3 表記・表現・造本	(1) 文字・記号・用語・計量単位等の表記は適切であるか。	○色覚の違いにより学習に支障をきたすことのないよう、マークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるよう工夫している。 ○無理なく学習のまとめを行うことができるよう、教材を3～4頁で構成している。	○教材内容の理解を深めることができるよう、文字サイズを大きくし、挿絵の量を最小限に抑えるなど、シンプルなデザインにしている。 ○話し合ったり考えを深め合ったりする時間を確保できるよう、1教材当たり4頁を基準としている。		
	(2) 児童理解しやすい適切な表現になっているか。	○場面や状況をイメージしやすいよう、表紙や挿絵のイラストは明るい配色になっている。	○教材のテーマに向かう生徒の問いを促すことができるよう、各ユニットの扉や教材の導入部分に4コマ漫画を掲載している。		
	(3) 使用上の利便性に配慮し造本されているか。	○SDGsの視点から学びを深められるよう、巻末に付録を付している。 ○保管や持ち運びに便利になるよう、B5判型を採用している。	○読みやすさが向上するよう、紙面の広いA B版を採用している。 ○自分の思いや考えを書き込むことができるよう、教材末の発問の近くに「memo」の枠を設定している。		
概要		生徒が生命尊重といじめ防止について理解を深められるよう、重点項目4つを全学年で3時間ずつ担当している。	生徒が人間としてどう生きるかを探求することができるよう、哲学的視点を与える教材を各学年に1つずつ設定している。また、各教材で自分の思いを仲間と語り合えるよう、巻末にウェルビーイングカードを付している。		